

全船協

会報137号 2018年5月 春季号



油槽船「きんれいか」
上野トランステック株式会社提供



一般社団法人 **全日本船舶職員協会**

JAPAN MARITIME OFFICERS' ASSOCIATION

無料船員職業紹介所(国土交通省許可第8号)

URL <http://www.zensenkyo.com>

山友汽船株式会社

代表取締役社長 望月正信

〒650-0015 神戸市中央区多聞通2丁目1番1号

TEL (078) 371-5505 FAX (078) 371-5520

Email: sanyuksn@violin.ocn.ne.jp

B&S ENTERPRISE

株式会社ビーアンドエス・エンタープライズ

TEL (078) 361-6971 FAX (078) 361-6972

Email: info@bands-k.com



北星海運株式会社

代表取締役社長 佐藤有造

〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目1番5号

セントラルビル6階

電話 (03) 3275-5520(代) FAX (03) 3275-5575

一般社団法人 日本船長協会

会長 葛西 弘樹

〒102-0083 東京都千代田区麹町4丁目5番地
(海事センタービル5階)

電話 (03) 3265-6641

FAX (03) 3265-8710

http://www.captain.or.jp

一般社団法人 海洋会

会長 山本 勝

〒102-0083 東京都千代田区麹町4丁目5番地
(海事センタービル6階)

電話 (03) 3262-8632

FAX (03) 3262-6909



一般社団法人

日本船舶機関士協会

会長 井手 祐之

〒102-0083 東京都千代田区麹町四丁目5番地
(海事センタービル5階)

電話 (03) 3264-2518

E-mail: me-honbu@marine-engineer.or.jp

URL http://www.marine-engineer.or.jp

人と海に未来を

公益社団法人 日本海難防止協会

会長 工藤 泰三

〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目1番3号
磯村ビル6階

電話 (03) 3502-2231

http://www.nikkaiho.or.jp

E-mail: 2231jams@nikkaiho.or.jp

海事業界メディアのバイオニア 日本海事新聞

THE JAPAN MARITIME DAILY

試読・購読のお申し込みは

電話 **03-3436-3222** まで

電子版サービス「マリナビ」は
www.marinavi.com へ

海上の友

船員と船員家庭のタブロイド版新聞 毎月1日発行
年間購読料 本体価格(5,916円) + 税 送料別

お申し込み
お問い合わせ (公財)日本海事広報協会

〒104-0043 東京都中央区湊2-12-6

電話 (03) 3552-5034 FAX (03) 3553-6580

平成19年第9回グリーン購入大賞優秀賞

平成21年第3回ものづくり日本大賞優秀賞

平成22年資源循環技術・システム表彰

平成23年第1回エコマークアワード奨励賞

広域認定事業所 **株式会社おぎぞ**

会長 **小木曾 順務**

〒509-5401 岐阜県土岐市駄知町1468

電話 0572-59-8639 FAX 0572-59-4546

造船士官の経験を活かし、10年前の食器中のポリネイトを資源化しエコマーク付きの給食用給食器を開発し全国展開。この実績経験を活かし、今年度新造船事業(福島県船協)で「高圧ボトルを自主回収しPET食器を製造販売する事業」で認定を受け事業展開に入る。ご支援をお願いします。

船舶、船舶装備器具及び部品の販売、輸出。作業船の賃貸
船舶修理、検査工事の請負及びコンサルタント。

K2 シップマネジメント株式会社

代表取締役 **可児 紘之**

〒220-0023 神奈川県横浜市西区平沼1-13-14
パークヴィア横浜・老番館306

電話 : 045-290-6082 FAX : 045-290-6916

E-mail: kani@ksh.biglobe.ne.jp



目次

| | |
|--|--|
| 表紙…上野トランステック(株) 油槽船「きんれいか」 | |
| 巻頭言…「ソーシャルネットな海洋社会をつくろう」……………理事 松見 準………… 2 | |
| 水先修業生について……………内海水先区水先人……………会員 栗阪 肇………… 3 | |
| 譲り受けた教科書……………名誉会員 田中善治………… 15 | |
| 死二方用意(1)……………相続コンサルタント 中田千太郎………… 21 | |
| 会社紹介 上野トランステック株式会社…………… 24 | |
| 海事ニュース…………… 26 | |
| 北から南から | |
| 富山高等専門学校…………… 28 | |
| 鳥羽商船高等専門学校…………… 33 | |
| 広島商船高等専門学校…………… 38 | |
| 大島商船高等専門学校…………… 41 | |
| 弓削商船高等専門学校…………… 48 | |
| 海技教育機構…………… 53 | |
| 本部・支部だより……………事務局………… 57 | |
| 会費納入者御芳名……………事務局………… 59 | |
| 新刊紹介…………船舶安全学研究会編『新訂船舶安全学概論』成山堂刊…………事務局………… 60 | |
| お知らせ 第48回戦没・殉職船員追悼式……………事務局………… 62 | |
| 第3回 海から届ける写真展のお知らせ……………事務局………… 63 | |
| 時事寸評……………事務局………… 64 | |
| 表紙写真解説 油槽船「きんれいか」……………事務局………… 64 | |
| 編集後記……………事務局………… 64 | |

<巻頭言> ソーシャルネットな海洋文化社会をつくる

理事 松見 準



日本人船員の主な職域
といえば、今では「内航
海運」となっています。

しかし、日本人船員の存在、

存続が制度的に守られているはずの内航海運で非常に深刻な船員不足に陥っています。

芸術家の谷川夏樹さんは、絵本を描くために実際に内航船へ乗船取材し、海運の重要な役目を調べるうちに「責任」を感じ、ネットで呼びかけました。

(まず、多くの人に内航船のことを知ってほしい。船員不足が深刻です。島国なのにこれで大丈夫?)

谷川さんは「7月15日をナナイチゴ、ナイコ、内航船の日と呼ぼう」と記念日を提案。後に全国の応援者たちで協力して、日本記念日協会から正式に記念日認定を受けることになりました。

(2015年末)

今年2月、絵本「かもつせんのいちにち」が完成。出版大手・福音館書店の月刊誌として発売されました。応援者の広がりや、異例の10万部を超える勢い。幼稚園や図書館に寄贈するために、いくつも購入された方も大勢おられます。

珍しい内航船の絵本として複数の業界新聞でも記事になり、徳島では「ふなどころ阿南まちづくり協議会」が100冊を市に贈呈、今治でも愛媛内航海運組合連合会が100冊を市に贈呈する動きになりました。

記念日を応援してきた一般の方たちにとっても、船主たちの行動は、産業自身の「責任感」の表れとして好感を得る出来事となりました。

ネットの一般市民の間で生まれ、海運業へ贈ら

れた記念日「内航船の日」は、内航産業の魅力的な部分だけへの関心ではなく、船員不足や産業としての課題、カボタージュ問題までもが話題となり応援者が広がっていきます。それは次第に、個人では島国に住むことのリアリティとライフスタイルに影響する関心事になっていきます。

ソーシャルネットな海洋文化社会は、すでに始まっているのかも知れません。産業としての責任感を切実な行動で社会に示せば、海運は人間味のある産業として市民に受け入れられ、ともに発展していくこととなります。

深刻な船員不足に陥っている内航海運現場とは別のところで、自動化船研究の情報が飛び交っています。この方向性が示されることで、造船段階から新造する船のコンセプトも決まります。

一方で、韓国の外航海運が、日本の内航船と同等サイズの船で瀬戸内を行き交っています。うち一隻(タンカー船)を調べると、日本の造船所で建造された新造船で、個室が13室、コックも乗っています。若い船員も含め13人も乗り込んで運航。こちらの船のコンセプトは、瀬戸内を走れるような船員の増産であると言えます。

自動化船の研究が、内航船が入る小さな港にまで通用するテクノロジーであるのか。私には不安があります。後になって船員増産を叫ぶことになるところには、造船から見直すことも、船員育成も、労働環境の整備にも間に合いません。

島国の日本人船舶職員の立場として、いざという事態には隣国に頼れば良いとは絶対に言いたくない。私たち船舶職員の「責任感」もまた、重要な時に来ているのではないのでしょうか。

水先修業生について

内海水先区水先人 会員 栗阪 肇



筆者略歴

- 1997年 09月 神戸商船大学乗船実習科修了 (BN42期)
- 2015年 08月 中国総業株式会社退社
- 2016年 04月 海技大学校水先コース一級入学
- 2016年 12月 同校修了
- 2017年 02月 内海水先区水先人会入会

目次

- 1) はじめに
- 2) 海技振興センター選考基準について
- 3) 退社から海技振興センター選抜試験まで
- 4) 合格発表から水先教育センター入学式まで
- 5) 入学式から国家試験 (一次) まで
- 6) 国家試験 (一次)
- 7) 操船シミュレーター
- 8) サバイバル訓練
- 9) 教材など
- 10) 国家試験 (一次) から水先区個別教育まで
- 11) 水先区個別教育
 - 11-1) A水先区
 - 11-2) B水先区
 - 11-3) C水先区 (五大水先区)
 - 11-4) 内海水先区
- 12) 国家試験 (二次)
- 13) 国家試験 (二次) から水先教育センター修了式まで
- 14) おわりに

1) はじめに

会員の皆様、現役学生の皆様、初めまして。私は、2016年12月 海技大学校技術教育科船舶運航実務課程水先コース (一級) を修了しました。(以下「一級水先コース」)。

2014年2月、それまで東京海洋大学大学院、神戸大学大学院、海技大学校の3校であった水先養成施設が海技大学校水先教育センターへ集約されました。私は水先教育センターが開校されて3年目の卒業生となります。水先教育センターにおける水先区共通教育と、内海水先区を含む4水先区における水先区個別教育の様子を織り交ぜながら水先修業生についてご紹介致します。なお、本件について海事関係者の皆様方、特に現役学生の皆様に広くお伝え致したいので、本会に加えて海洋会へも同内容を投稿致しております。本文中の「水先修業生」とは登録水先人養成施設 (水先教育センター) の課程を修習中の者を指す法律用語です。

本内容については、特に説明がない場合には2016年12月現在のものです。現在と、募集要項や教育カリキュラム・支給される教材など異なっている可能性があることをお含みおき下さい。

2) 海技振興センター選考基準について

改正水先法 (2006年5月公布) が2007年4月に施行され、新たに創設された水先人の養成制度を含む「新水先制度」へ移行しました。2014年2月、水先教育センターが開校されると同時に二級水先コースの養成開始。さらに、それまでの三級

水先コースについては、新卒者等と航海士経験者
とに細分化されました。

水先人になるには、水先教育センターにおいて
所定の教育訓練を受ける必要がありますが、海技
振興センターが安心して教育訓練に専念できる
ように所要の支援（後述）を行っています。その
ため、水先教育センターに入学希望する者を対象
として海技振興センターが選考試験を行って
おります。

海技振興センターの選抜試験と水先教育セン
ターの入学試験とは、同じと理解して下さい。

一級・二級・三級水先人養成支援対象者の募集
要項については、年度によって若干異なること
があります。例えば、2017年4月入学の一級水先
人養成支援対象者については、

通常募集：

1955年4月2日以降生まれであること。

特別募集：

1954年4月2日以降生まれであること。
の2種類に細分化されました。

2017年1月入学の二級水先人養成支援対象者
の募集要項では、

五大水先区募集（※）：1971年4月2日以降
生まれであること。

中小水先区募集（※）：1961年4月2日以
降生まれであること。

と水先区によって年齢上限が異なっており
ます。これは2016年1月入学から細分化
されました。

（※）五大水先区とは、東京湾、伊勢三河湾、
大阪湾、内海、関門。中小水先区とは、35
水先区のうち五大水先区以外を指します。

三級水先人養成支援対象者の募集要項につ
いて、第二期生以降は35才未満の年齢制限
が追加されました。

海技振興センターの選抜試験は、書類選考に合

格すると一次試験と二次試験とが東京で行
われました。その時に発生しました交通費に
ついては、海技振興センターが後日口座振
り込みにて支給しました。海技振興セン
ターはさらに、

一級水先人養成支援対象者（2017年4月入
学）と二級水先人養成支援対象者（2017
年1月入学）に対し、養成手当として五大
水先区については月額25万円、中小水先
区については月額40万円、その他、教材
・救命胴衣等及び養成施設外での訓練中
要する旅費と宿泊費を支給し、損害保険
を付保します。

三級水先人養成支援対象者（2018年10
月入学）に対しは、商船乗船実習中の支
援として乗船中月額40万円程度、下船中
月額25万円程度、社会保険（船員保険、
厚生年金保険、雇用保険）が付保しま
す。養成中の支援（商船乗船実習の期間
を除く）として、月額25万円、その他、
教材・救命胴衣等及び養成施設外での訓
練中要する旅費と宿泊費を支給し、損害
保険を付保します。但し、商船乗船実習
は新卒者等についてのみ対象であり、航
海士経験者は該当しません。

一級水先人養成支援対象者（2017年4月
入学）の養成期間は8.5カ月。二級水先
人養成支援対象者（2017年1月入学）の
養成期間は15カ月。三級水先人養成支
援対象者（2018年10月入学）新卒者等
の養成期間は3年9カ月。三級水先人養
成支援対象者（2018年10月入学）航海
士経験者の養成期間は1年9カ月です。
新卒者等と航海士経験者との養成期間
に2年の差がありますが、この期間は商
船乗船実習のための2年となります。

さらに詳しい募集要項や支援内容等につ
いては、海技振興センターのホームページ
をご覧ください。海運局やエスカル（旧船
員会館）に置いてあります海技振興セン
ターの募集案内（冊子）をご参照下さい。

海技振興センターとは、水先人の養成及
び確保のための総合的な支援を行うと
ともに、船舶の運

航及びきょう導に関する改善進歩等の事業を行っている一般財団法人です。さらには、水先人免許を取得した後、希望者には水先業務を開業するに必要とされる開業資金として500万円まで上限として貸与します。

新水先制度が開始してからの水先人養成支援対象者数については、国土交通省のホームページ内で「水先人の人材確保・育成等に関する検討会」と検索するか、以下 URL を直接入力して下さい。ちなみに、私は一級 10 期生になります。

http://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_tk10_000024.html

海技大学校での入学金はゼロ、授業料等は合計 27 万円（8.5 ヶ月分）でした。二級・三級水先コースについては在学期間が一級に比べて長くなるため、長くなる期間に相当して高額となります。

3) 退社から海技振興センター選抜試験まで

現役最後の船を下船したのが 2015 年 7 月、翌 8 月退社し失業しました。下船直後、船長時代にたまたま同じ船で 2 回きょう導して頂いた水先人に引率して頂き内海水先区水先人会神戸本部（以下「内海水先人会」）へ挨拶に行きました。

内海水先人会のアドバイスにより TOEIC 受験の継続と国家試験（一次・筆記）の準備を開始しました。募集締め切りまで 6 カ月弱ありましたが、選抜試験の科目である健康検査を受診し願書をオンラインで申請しました。出願後 TOEIC の最高スコアが更新されましたので、TOEIC についてのみ再提出しました。

TOEIC は、海技試験と同じように受験申請から試験日まで 1 カ月以上も期間が開いていることもあります。毎月の開催ではなく 2 月と 8 月を除き年 10 回です。さらに、全国 80 都市で受験可能ではありますが、受験地により実施回数（頻度）が異なります。例えば、私の当時住んでいた中国地方を例にあげると、第 214 回（2016 年 10 月

23 日実施）から第 222 回（2017 年 7 月 23 日実施予定）までの 9 回を調べてみると、広島では 9 回全ての実施（予定）であります。岡山では 8 回、福山では 3 回、鳥取・島根・津山・岩国・下関・山口に至っては 2 回のみとなっております。

（私は、隣接県まで TOEIC 受験のため足を運んだこともありましたが）。

海上勤務である現役船長や航海士が TOEIC を受験しようとする、乗船休暇中の期間にもありますが、休暇が始まってから受験申請を行うと試験日が次船乗船後となり受験できない可能性もあります。（私は、休暇が決まりそうであれば前広に受験申請を家族に代行してもらいました。また、乗船のため申請したにも関わらず受験できないことも多々ありました）。

国家試験の過去問題は、日本船長協会の正会員のみが入手できます。（以下「船長協会」）商船船長でなくても正会員になることは可能です。一級 10 期生から海上自衛隊出身 2 名が初めて入学しましたが、彼らも入学前に正会員になることができました。二級・三級水先コースであれば、水先教育センター入学から国家試験（6 月）までの期間が十分あるので、正会員にならず水先教育センターから支給される問題集で間に合うと思われれます。水先教育センターから支給される問題集は 2 種類あり、片方は船長協会のものです。

筆記試験の問題は、『最新水先法及び関係法令』国土交通省海事局海技課監修 成山堂書店 附録 110 頁にも 2008 年 1 月実施分が紹介されております。

選抜試験の直前になると海技振興センターから試験案内が電子メールにて送信されました。受験票はなく、電子メールを印刷したものが受験票となりました。試験は一次と二次とが東京で行われました。一次試験は作文、二次試験はその作文を基にした面接でした。本人の確認は、自動車免許などで行われました。

私が幸運であったのは、希望水先区（内海）水先人会から入学試験を含めて多くのアドバイス

を前広に頂き、準備をすることができたことです。入学試験（一次）時、試験官から「国家試験（一次）に合格するためには、2,000 時間の学習時間が必要である」とアドバイスを頂きました。

（2,000 時間という数値は記憶力に反比例し、年齢が若いとそれよりも少なく済むと理解しております）。

4) 合格発表から水先教育センター入学式まで

合格は、海技振興センターのホームページで発表されました。合格と同時に、海技振興センターと水先教育センターとの両センターから入学手続きの案内が発送されました。3月10日・11日、船長協会主催の水先人試験セミナーが東京で行われました。セミナーの後、希望者のみ模擬テストを受験しました。セミナーでは、4月から水先教育センターと一緒に講義を受ける水先コース（一級10期生）、水先コース（二級3期生）、水先コース（三級8期生）の水先修業生が一同に会しました。セミナーで発生した交通費についても、海技振興センターから後日支給されました。

入学手続きの書類とともに、船長協会の過去問題集10年分を支給されました。問題集は時系列（出題年月・級別）ですので、これを基に自分で覚えやすいように（効率良く学習できるように）ノートを作成する（水先教育センターでは「My note」と呼んでいます）のが筆記試験準備の第一段階で、過去の水先修業生に共通する勉強方法のようです。

二級・三級水先コースは、海技大学校の学生寮に入寮する資格がありましたが、学生寮の立替工事のため2017年1月以降は入寮ができなくなります。一級水先コースについては、8期生以降は入寮資格がないので自宅から通学するか下宿するかの二者択一となります。（7期生までは、海技大学校1校ではなく3校に分かれて教育がなされていたので、海技大学校の組は修業生の数が少なかったため入寮する資格がありました）。

私は下宿を選択しましたが、食事の心配があっ

たので海技大学校から徒歩15分のところにある共立メンテナンス「ドーミー芦屋」へ入居しました。（資料_1）管理人によると、一級水先コースは毎年数名入居しているとのことでした。10期生は入学時24名でしたが、そのうち私を含めて7名がドーミー芦屋へマンスリー契約をしました。



ドーミー芦屋

東京湾水先区3名、伊勢三河湾水先区2名、鹿島水先区1名と私でした。

海技大学校へ座学の期間だけ通学する場合は、マンスリー契約が得となりました。光熱水費・通信費（固定電話代は除く）・食費込で、1日約5,000円でした。

ドーミー芦屋では、平日、土日祝日を問わず朝晩食事が提供されました。食事中、国家試験対策を含めて7名で情報を交換することができ、小さな会社の出身で情報量が限りなくゼロに近かった私にとっては大いに助けられました。この場をお借りして心から深くお礼申し上げます。

部屋はワンルームで、勉強机、本棚、TV、ベッド、IP電話（インターネット接続可能）、クローゼット、ミニキッチン、冷蔵庫、ユニットバス、トイレ（バスとトイレとは別室）、エアコン、下駄箱が備え付けられており、10日おきにシーツを支給され個人で取り換えました。2階には食堂があり、各階には共用の洗濯室がありました。元々はJFEスチールの単身寮でしたが、それを共立

メンテナンスが買い取ったそうです。従って、JFE スチール社員が入居者の 25%を占めておりました。廊下からは六甲山を望むことが出来き、徒歩 5 分余で御前浜公園（芦屋浜）へと通じていました。

水先教育センターへの通学日、昼食については海技大学校の学生食堂を利用するか、近所のコンビニ・スーパーで弁当を購入しました。

5) 入学から国家試験（一次）まで

一級水先コースの入学式は、2016 年 4 月 6 日に行われました。入学式の当日から授業が開始しました。入学式は、一級水先コース 24 名の他、船会社の自社養成（航海士コース、機関士コース）29 名を含む合計 96 名が出席しました。

講義内容は、入学から国家試験（一次・筆記）までの期間では、主に操船シミュレーター訓練ですが、その他に、大阪湾・内海水先人会事務所見学（PILOT ボート乗船を含む）、操船実務、水先実務、操船性能、気象・海象、航海計器、海運実務、海上衝突予防法、海上交通安全法、港則法、水先法、海難事例研究、リスクマネジメント、国家試験模擬試験（合計 2 回）がありました。

講師陣は、入学から座学修了までの期間を通して、現役水先人（日本水先人会連合会会長、大阪湾水先区水先人会会長を含む）、海技大学校の教授陣、東京海洋大学教授、神戸大学海事科学部名誉教授、元・東海大学海洋科学部教授、海難審判協会理事長、大手船会社、代理店、タグ会社、古野電機、東京海上日動火災保険、弁護士、元・海技試験官、日本サバイバルトレーニングセンターなどでした。

水先教育センターでの講義は、第 1 時限は 09 時から 12 時まで、第 2 時限は 13 時から 16 時までの 3 時間 1 コマでした。土日は基本的に休みでした。全ての講義が必修のため、欠席は認められませんでした。

付属図書館の利用については入学式前から利用可能でした。すぐ近くに神戸大学海事科学部が

あったので、そちらの図書館についても手続きが必要なものの利用可能（一般開放）でした。

講義と並行して、国家試験の科目である身体検査のため神戸掖済会病院（神戸市垂水区）を半日訪れました。

6) 国家試験（一次）

6 月 28 日、試験会場は海技大学校でした。一級水先コースから三級水先コースを通じて五大水先区は 13 時から 1630 時、中小水先区は科目数が少ないため 13 時から 16 時でした。試験問題は、海上衝突予防法、港則法、海上交通安全法、水先法、海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律、信号、気象・海象、操船関係でした。（水先区によっては、海上交通安全法の出題がありません。）試験問題は、全国共通のものと同水先区についての個別（海上交通安全法と港則法の問題のそれぞれ一部）のものがありました。また、同じ水先区であっても一級・二級・三級水先コースによって問題が若干異なっていました。

解答用紙は B4 用紙 7 枚（又は 6 枚、大問一問につき 1 枚）でした。記述式ですので問題によっては表裏にびっしりと書くことが求められました。

合格通知は、国土交通省から直接水先教育センターへ連絡されました。個別の問い合わせは、受け付けていませんでした。

筆記試験に際し、神戸掖済会病院における身体検査に合格しなければなりません。国家試験の受験申請や身体検査の予約などについては、全て水先教育センターが代行して行ってくれましたので非常に助かりました。国家試験（一次）の受験料は、海技試験と同じで収入印紙をはりつけ水先教育センター経由で支払いました。

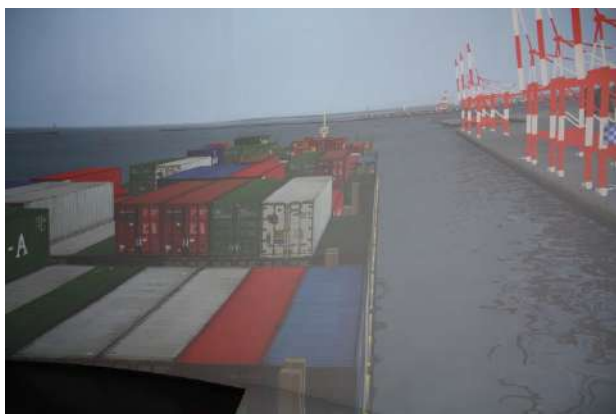
7) 操船シミュレーター

国家試験（一次・筆記）を挟む前後にわたって操船シミュレーター訓練がありました。この訓練が水先教育センターでの教育訓練の大きな柱と

なりますが、「マルチキュービックスミュレーター」を用いて行いました。マルチキュービックスミュレーターとは、第1船橋から第5船橋と制御室（オペレーションセンター）とで構成されています。資料2「操船シミュレーター」をご参照下さい。



操船シミュレーターによる訓練（第一船橋）



操船シミュレーターによる訓練（第一船橋）

第1船橋から第5船橋の情報をつなぎ「複合モード」とし、5組の訓練グループが同一海域を同時に航行し、現実に近い航行環境を再現し、操船者間のコミュニケーションを確立することができます。一方、「独立モード」として第1船橋から第5船橋まで5組の訓練グループが独立して訓練を行い、訓練機会の増加と訓練効率の向上を図ることもできます。

訓練シナリオによっては自分の水先区には関係のない海域・港、着岸・離岸方法、船種、気象・

海象、他船の輻輳度が存在しましたが、それは訓練であるため全員共通で履修しました。

シミュレーション前後にブリーフィング、自船の航跡図を見ながらデブリーフィングを行いました。私と比べて、シミュレーター操船では二三級水先コース生は上手でした。内航フェリー船長経験者も上手でした。

具体的には、以下の通りです。

- a) 仮想の岸壁を設定したシナリオ
- b) 東京湾口アプローチ・浦賀水道航路・中ノ瀬航路・東京湾内の各港（シフトを含む）のシナリオ
- c) 名古屋港（シフトを含む）のシナリオ
- d) 友ヶ島アプローチ・神戸中央航路アプローチ・大阪湾内の各港のシナリオ
- e) 速吸瀬戸（関埼パイロットステーション→伊予灘北航）のシナリオ

それぞれの訓練の後、水先修業生は各々水先教育センターが管理する「目標達成度記録管理システム」に Web 上で結果を入力しました。

8) サバイバル訓練

日本サバイバルトレーニングセンターは、福岡県北九州市（最寄駅 JR 戸畑）に位置します。7月28日29日、以下の訓練について、一二三級水先コース全員を対象に日本サバイバルトレーニングセンターで行われました。28日午前中は新神戸から戸畑への移動時間で、訓練は28日午後と29日終日でした。

訓練内容は、救命胴衣を装着しての洋上生存訓練（高さ1m以上からの入水、水面での移動、救命筏への乗り込み、救命具による吊り下げなど）。ダミー人形を用いた心肺蘇生法などの応急処置訓練でした。

2017年4月入学の一級水先コースと同期の二級・三級水先コースは、日本サバイバルトレーニングセンターではなく水先教育センターで訓練

を行いました。

9) 教材など

水先教育センターに在籍していた間、一級水先コースに支給された教材と被服については次の通りです。

『海上衝突予防法の解説』改訂 8 版 海上保安庁監修 海文堂、『港則法の解説』改訂 15 版 海上保安庁監修 海文堂、『海上交通安全法の解説』改訂 13 版 海上保安庁監修 海文堂、『最新水先法及び関係法令』平成 21 年 1 月現在 国土交通省海事局海技課監修 成山堂、『水先人国家試験過去問題解答集』日本船長協会、10 年分『よくわかる高層気象の知識、-JMH 図から読み解く-』福地章著 成山堂、『船舶通信の基礎知識 (改訂版)』鈴木治著 成山堂、実用水先英語 (教科書・CBT 教材) DVD 教材付き『とっさに言える瞬発力・とぎれない会話力がつく 英会話タイムトライアル』Steve Soresi 著 NHK 出版、『5 分間 日常動作を表す英語表記』小中秀彦著 南雲堂、『操船の理論と実際』井上欣三著 成山堂、『ブリッジ・リソース・マネジメント』廣澤明訳 成山堂、『IMO 標準海事通信用語集』国土交通省海事局監修 成山堂、水先教育センターが作成した実務マニュアル海図 (各水先区別に) パイロットコート※救命胴衣

※パイロットコートとは、救命胴衣が内蔵されたコートです。ベージュとオレンジの 2 色がありました。

10) 国家試験 (一次) から水先区個別教育まで

講義は、引き続き操船シミュレーター訓練が中心でしたが、それと並行して実用英語 (日常会話)、実用水先英語、乗下船安全 (日本サバイバルトレーニングセンター、上記 8) の訓練、水先業務、代理店業務概論、ターミナル概論、タグ概論がありました。水先教育センターにおける操船シミュレーターと講義を含む座学 (水先区共通教育) は、8 月 5 日まででした。翌 6 日から水先区個別教育

の開始される 15 日までは、水先区個別教育の準備期間でした。準備期間中に、必要であれば引越しを行いました。

11) 水先個別教育

実習期間は、8 月 15 日から水先教育センターの修了式まで全国の水先区で共通でした。一級水先コースでは 3.7 カ月。二級では 6.7 カ月。三級では新卒者等と航海士経験者ともに 9 カ月でした。

11-1) A 水先区

以下、水先修業生 X 氏へのインタビューを要約しました。

実習期間の宿泊については、賃貸マンションを契約しました。水先人として開業後もそのまま住み続けることを前提にしていたからです。水先教育センター通学中から、インターネットにて良い物件を探し、最終的に 2 候補を選定。二次試験終了後の休日を利用して現地を訪れ、物件を見て決めました。

マンションと水先人会事務所 (PILOT ボート基地) とは、徒歩 15 分。但し、水先人会から、修業生と開業後ともに「1 時間以内で事務所と行き来できる」と指示を受けました。車で通うことも当初考慮に入れましたが、水先人会会長から、「歩いて通えるところにした方がよい。」と指導があり、徒歩で通えるところに候補を絞りました。

実習期間の休日設定については、「水先を求める船がないときが休み」と指導されていたので、不定期で月に 4、5 日程度、対象船がないときに休みました。

実習船については、1 日が多い時 3 隻、少ない時 1 隻でした。1 実習船あたり、最大約 120 分。最少約 30 分のきょう導 (PILOT ボートでの移動時間を除く) 時間でした。PILOT ボートでの移動時間は、パイロットステーションと基地間は、最大 50 分程度でした。荒天時にも、実習をしました。(荒天時の乗り降りの経験は、重要でした。)

二次試験の勉強については、休日を中心に勉強しました。スケジュールに余裕がある時は、実習船がある日も実施していました。船が多いときは疲れていましたので、休養するのが中心でした。勉強のための実習の中断はありませんでした。

二次試験後から水先教育センター卒業試験までの期間には、実習船に従来と同じく乗船しておりました。

実習時の持ち物としては、双眼鏡、救命胴衣、タグボートの傍受用トランシーバー、雨天時は合羽。休業中の夏期服装は、帽子、ポロシャツ、チノパン。冬期服装は、帽子、上着、スラックスでした。

開業後は、すぐに単独操船（一人立ち）となりました。

11-2) B 水先区

以下、水先修業生Y氏へのインタビューを要約しました。

実習期間の宿泊については、実習期間終了後の転居を嫌い、水先業務開始時点で住居となり得るマンションを契約しました。一次試験終了時点で、インターネット及び電話での賃貸業者と連絡を取りました。住居の確保に保証人が必要となり、不要な手間と出費がかかりました。

マンションと水先人会事務所（PILOT ボート基地）との交通手段は、自家用車で片道 15 分でした。水先人会より、車で 15 分以内での住居設定を指示されました。

実習期間の休日設定については、毎週土日は休日、追加で月 4 日ほどの休日（不定期）がありました。

実習船については、1 日が多い時 4 隻、少ない時 1 隻で、1 実習船あたり、最大約 60 分。最少約 30 分のきょう導時間でした。荒天時にも、実習をしました。

二次試験の勉強については、実習と両立し、休日にまとめて行いました。国家試験 1 ヶ月前より実習隻数を減らして調整しました。

二次試験後から水先教育センター卒業試験までの期間には、引き続き乗船しました。実習時の持ち物は、救命胴衣、Pilot Information Card（水

先人が船長と操船などの情報確認を行うチェックリスト）、携帯（情報センターとの交信用）、トランシーバー（タグとの通信用）、携帯 VHF（タグとの緊急通信手段）。夏期の服装は、ワイシャツ、ネクタイ（必須）、ハット（アウトドア用ひさしの長い物）。冬期の服装は、ワイシャツ、ネクタイ（必須）、ハット（上記同様）、パイロットコート又は防寒ジャンパー、救命胴衣でした。開業後は、すぐに単独操船を行いました。但し、4 隻は現役水先人が同乗しました。

11-3) C 水先区（五大水先区）

以下、水先修業生 Z 氏へのインタビューを要約しました。

実習期間の宿泊については、賃貸マンションを契約しました。一次試験が終わってから探し始めて物件を決定し、契約は筆記試験合格発表まで待ってもらいました。マンションと水先人会事務所（PILOT ボート基地）との交通手段は、徒歩 20 分。

宿泊先とパイロット事務所（PILOT ボート基地）との距離、又は時間の指示はありませんでしたが、早朝 3 時位にパイロット事務所に行かなければならない事もあり、徒歩で通える範囲を最初から考慮しました。

実習期間の休日設定については、毎週土日は休日、不定期でしたが月 4 日ほどの休日を設けました。水先人会からは、週一日程度は休むように指示され、修業生全員でライングループを組み修業船の選択や休日を共有しました。

実習船については、C 水先区は短いシフト等もあるので、多い時 3 隻、ほとんどは 1 隻でした。1 実習船あたり、最大 3 時間、最小 20 分でした。

水先人会からは、荒天時はダメと指示されましたが、台風避難の最初の段階（荒天になる前）では、実習をしました。

二次試験の勉強については、休日にも多少しましたが、ほとんどは二次試験の約 40 日前から実習を中断して行いました。

二次試験後から水先教育センター卒業試験までの期間には、実習船には乗船せず、別の訓練（見学）に参加しました。

開業後、個人事務所兼自宅と水先人会事務所との距離、または時間については、特に指示はありませんでしたが、内々 1 時間程度とか言われております。個人事務所の場所や環境について、水先人会からの干渉は全くありませんでした。

実習時の持ち物は、双眼鏡、救命胴衣、カップ、業務資料、トランシーバー、スマートホン（携帯電話）、乗下船用手袋。夏期の服装は、スーツ、ネクタイ、ハット、または、キャップ。冬期の服装は、夏と同じで、適宜防寒対策をしました。

開業後は 5 隻、業務検証期間（現役一級水先人との相乗り）の後、水先会の評価委員会で確認後の単独操船となりました。また、6 ヶ月経ってからと 1 年後に 1 隻のみ、単独操船ではありませんが業務評価検証乗船（現役一級水先人が上乗り）があります。

C 水先区は先輩が多いのですが、厳しい人は少ないので割と実習は楽でした。しかし、大先輩の中には気を使う方がいたのも事実でした。

11-4) 内海水先区

準備期間中、内海水先人会において半日、水先実務修習（以下「実習」）の事前説明会がありました。水先実務修習とは、各水先区の水先現場における実践・実務的な訓練のことです。

水先教育センターから支給された瀬戸内海のコピー海図に、色鉛筆や蛍光ペンで色付けをしました。例えば、等深線 20m は青、10m は赤、5m は橙、陸地は茶（緑）色です。資料を参照しながら、錨地についても記入しました。パイロットステーションから港入口までの主要航路についてコースラインを引きました。支給されたオリジナル海図は 13 枚、表裏のコピー海図 34 枚（78 枚

の海図コピー）でした。

実習期間中はどこに住居を構えてもよかったので、準備期間中には私はドリーミル芦屋から自宅へ一旦引越しをしました。（水先修業生の中には転居せず、そのまま神戸または芦屋（海技大学の近く）に居た者もいました）。

実習には長距離の移動が含まれますので、荷物を 2 つのカバンに分け、PILOT ラダーの昇降ではカバン 1 つを乗組員にヒールグラインで上げ下げの依頼しました。カバンの中身は、コピー海図（上記 34 枚）、潮汐表、参考資料、身分証明書（水先教育センター発行の学生証）、保険証、灯台表、実習用ノートと報告書、文房具（三角定規、コンパス、デバイダーを含む）、双眼鏡、サングラス、トランシーバー、トーチライト、携帯電話、救命胴衣、雨具、着替え用下着、Y シャツ、手袋、目覚まし時計、物干しロープ、ハンガー等でした。

国家試験（二次）の出題範囲となる「瀬戸内海水路誌」と上記「瀬戸内海・九州・南西諸島沿岸潮汐表」「灯台表 第 1 巻」は、日本水路協会 海図ネットショップで、同じく準備期間中に購入しました。

夏期の服装は、スーツ、ネクタイ、ハット。冬期の服装は、夏と同じで、適宜防寒対策（コート、または、パイロット・コート）をしました。（同乗した指導水先人は、内海水先人会がクールビズを奨励しているので、クールビズに従った品位ある服装でした）。

実習回数基準表（以下「基準表」）いわゆるノルマ表に従い、一級水先修業生の目標は 150 隻程度（航行約 65 隻、港内約 85 隻）、二級水先修業生の目標は 245 隻程度（航行約 120 隻、港内約 125 隻）、三級水先修業生の目標は 220 隻程度（航行約 130 隻、港内適宜）を効率良くこなさなければなりません。港内に比べて航行は時間がかかるので、そちらの実習を先に進めます。航行とは、神戸沖、関崎、部崎パイロットステーションから

各港外またはその逆です。

基準表は、岸壁ごとに細かく決められています。岸壁は専用岸壁であることが多いので必然的に実習する船種が決められました。

このような基準項目が、一級水先修業生では航行 27 項目、港内 36。二級水先修業生では航行 27 項目、港内 39。三級水先修業生では航行 28 項目、港内なし（適宜実習）となっていました。

実習の流れについては、できれば前の実習船が終わってから、それが難しい場合には前日夕刻までに水先修業生から水先人会へ電話連絡致しました。実習船は水先修業生が選ぶことができます。

あらかじめ内海水先人会ホームページ「水先修業生用 Web 検索システム」により実習船スケジュールその他を確認します。次の実習船を決めるために、現在位置（実習船）から次の実習船への移動が時間的に可能であるか、宿泊するビジネスホテルを確保できるか、他の水先修業生と実習船が重なっていないか等も検討しなければなりません。水先修業生同士が重なった場合、実習期間の短い一級（二級）が優先でした。他の一級水先修業生と重なっていた場合は、個別交渉か修業生のまとめ役「班長」と相談します。（航行実習の場合は 1 船当たり 1 から 2 名、港内実習は複数可能ですが、実習に際し現場水先人の許可が必要。）新規一二三級水先修業生の修業期間中に、進級二級水先修業生（後述 12）ご参照）の修業期間とが一部重なりました。

ビジネスホテルについては、神戸以外は水先人会に予約手配を依頼することができました。

実習船が決まれば、距離表を作成し、潮汐を調べ、港内であれば離着棧操船方法の予習をします。また、台風、地震（鳥取県中部地震、2016 年 10 月 21 日発生）、荷役の遅延などにより実習船が遅れたり、取りやめになることもありました。水先修業生は、短い期間内に基準表を達成しなければなりませんので、時にはスケジュールが過密に、時には休日を自由に設けておりました。実習

船で指導される水先人の皆様必ず、「健康には注意するように」とアドバイスを頂きました。現役水先人に比べ水先修業生は、より過密スケジュールであるからです。資料「実習の記録」は、参考までに私の実習記録を抜粋しております。

実習期間中、内海水先人会が手配した座学「航海情報（内海）」、「水路図誌・海図描画」、シミュレーター訓練が内海水先人会で行われ、船舶代理店見学（福山港）、危険物施設見学、海上交通センター（備讃マーチス）、東洋通信信号所（水島港）、荷役関連施設見学などがありました。

水先教育センターに報告するため、操船シミュレーター訓練と同じ要領で目標達成度記録管理システム」への Web 上入力、海技振興センターへ提出する立て替え旅費（交通費と宿泊費）の申請用紙の作成など、同時並行して行いました。

二級水先修業生については、次の 12) の通り国家試験（二次）合格の後も水先教育センター修了式のある 2017 年 3 月末まで実習が継続しました。三級水先修業生（航海士経験者）については、二次試験日は一・二級とは異なり、水先教育センター修了式は 2017 年 6 月末となりました。

開業後は、一級水先人については現役水先人の指導下 3 隻（来島海峡の通峡 1 隻を含む）に乗船し、評価委員会で確認をした後、単独操船となりました。二級・三級水先人については、一級と比べて開業後の練習隻数が増えていました。

12) 国家試験（二次）

二次試験は、12 月 12 日から 13 日、神戸運輸監理部で行われました。二次試験は、各水先会の主たる事務所の所在地管轄する地方運輸局で行われました。従って、神戸運輸監理部では、12 月 12 日から 16 日の期間に大阪湾水先区新規一級・新規二級・進級二級、内海水先区新規一級・新規二級・進級二級の合計 16 名が受験しました。

進級二級とは、三級水先人が二級水先人へ進級する試験のことを指します。

試験科目は、口述その一（口頭試問）、口述その二（英会話）、口述その三（海図描画）です。海図描画の過去問については、かつて海図描画が筆記試験に組み込まれていた頃の問題については、「水先人試験問題解答集」船長協会 に掲載されています。掲載されている海図描画の過去問のまとめについては、「水先人試験問題解答集」船長協会 平成 28 年度 116～119 頁にあります。

平成 28 年度は、大阪湾水先区と内海水先区の合格発表が 12 月 22 日午前中にありました。他水先区はそれよりも前に二次試験と合格発表があり、試験日と合格発表日とは各水先人会の主たる事務所の所在地管轄する地方運輸局（水先区）によって異なっていました。

ちなみに、海図描画で使用する文房具については水先区によって異なります。描画方法（魚の骨方式・グリット方式。縮尺など。）も異なります。前広に文房具を購入される場合は、希望される水先区水先人会に確認されることをお勧めします。

（私は、情報不足のため余分な文房具をいくつか購入しました）。また、全国の水先区で使用可能な文房具は、海技大学の売店で全て購入することができます。売店は、海技教育財団が運営しております。

「魚の骨方式」とは、海図描画の解答用紙となる模造紙のある点を起点（魚のお頭部）として、そこからの方位・距離で航路、灯台、島などを魚の骨の様に記載する方法です。一方、「グリット方式」とは、模造紙に細かい升目（ますめ）を書き、升目ごとに航路、灯台、島、水深の概略の位置を記載する方法です。また、「魚の骨」と「グリット」の両方を合わせた描画方法もあります。方位や距離などの数値は、諸先輩方が苦労して作られた語呂合わせに従いました。例えば、安芸灘南航路の針路（小水無瀬島南方→来島海峡航路西

口）については、「浪費（061）の嫁さん（043）午後（055）肉（029）が良い（041）」と覚えめました。

一次試験と違い、二次試験については地方運輸局から各水先人会事務所へ日程その他の連絡が行きました。

二次試験の過去問題については、各水先人会事務所にて保管しております。

13) 国家試験（二次）から水先教育センター修了式まで

内海水先区は他水先区に比べて広域であるため、二次試験が終了してから水先教育センター修了試験のある 12 月 21 日から 22 日まで、シミュレーター訓練と実習がありました。

修了試験については、一級水先コースについては学術試験と実技試験とがありました。学術試験については、修了式の約 1 カ月前の締切日レポートを提出しました。実技試験は、それぞれの水先区によってシナリオが異なりましたが、操船シミュレーターを用いて行われました。

水先教育センター修了式（一級水先コース）は、12 月 22 日午後に行われました。その様子については、海技大学ホームページをご参照下さい。
<http://www.mtc.ac.jp/2016/12/post-301.html>

14) おわりに

本件について、皆様に充分お伝えできていないと理解しております。日本水先人会連合会ホームページ、各水先人会ホームページ、海技振興センターホームページ、海技大学ホームページ、国土交通省ホームページ、内海水先区水先人会ホームページ、内海水先区水先人会フェイスブック、内海水先区水先人会オリジナルパンフレット『水先人という選択肢』、『水先案内人－瀬戸内海の船を守るものたち－』森隆行著 晃洋書房 を併せてご参照のほどお願い致します。

操船シミュレーターの写真については、水先教

育センターより提供されました。水先業務のご多忙中にも関わらず、インタビューに応じて頂きました X、Y、Z 氏の皆様方、誠にありがとうございました。

ご質問やアドバイス等ございましたら、恐れ入りますが事務局を經由して私まで頂ければ幸いです。ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。内海水先区水先人会では、水先人希望者を対象と

して個別訪問（見学）を随時受け付けております。個別訪問をご希望の方は、広報企画課（078-332-7191）までご連絡下さい。

本文の編集にあたり、上記ホームページなど数多くの文献を参考にさせていただきました。本文はこれらの文献に負うところが多いことを記して謝辞と致します。

以上

| 資料「実習の記録」 | | | | | | | | |
|-----------|----|-----|--------------|--------------|-------|------------------|------|---|
| 日付 | 船名 | GRT | 自 | 至 | 業務種別 | 乗船 (出 港・抜) | 下船時間 | 移動と宿泊 |
| 8/14 | | | | | | | | 8/15から実習開始となるため、自宅から神戸へJRで移動し宿泊。 |
| 8/15 | A丸 | 3万 | 和田沖 | 水島Q錨地 | 航行/投錨 | 1040 | 1800 | 実習終了後、水島から福山へ私鉄とJRで移動し宿泊。 |
| 8/16 | B丸 | 10万 | 福山A | 福山E-6錨地 | シフト | 1140 | 1305 | |
| 8/16 | C丸 | 9万 | 福山E-5錨地 | 福山A | 入港 | 1325 | 1515 | |
| 8/16 | D丸 | 2万 | 福山E-3錨地 | 福山U#2 | 入港 | 1700 | 1825 | 実習終了後、福山から水島へJRと私鉄で移動し宿泊。 |
| 8/17 | E丸 | 16万 | 水島#6JXエネルギーA | 和田沖 | 出港/航行 | 1045 | 1645 | 実習終了後、神戸から自宅へ帰省。 |
| 8/18 | | | | | | | | 自宅で休暇 |
| 8/19 | F丸 | 9万 | 水島JFE E東 | 関崎 | 出港/航行 | 1215 | 2315 | 自宅から水島へ移動。実習終了後、関崎にて宿泊。 |
| 8/20 | G丸 | 10万 | 関崎 | 宇部沖錨地 | 航行/投錨 | 0845 | 1420 | 実習終了後、宇部から中関(最寄り駅:防府)へJRで移動し宿泊。 |
| 8/21 | H丸 | 6万 | 中関3号岸(東) | 和田沖 | 出港/航行 | 1720 | 0730 | |
| =中略= | | | | | | | | |
| 12/16 | | | | | | | | 操船シミュレーター訓練の後、神戸から大分へJRで移動。大分にて宿泊。 |
| 12/17 | I丸 | 3千 | 大分沖 | 大分昭電13号 | 入港 | 1400 | 1545 | 実習終了後、大分から佐賀関へ移動。 |
| 12/17 | J丸 | 3万 | 佐賀関原料A岸 | 佐賀関沖 | 出港 | 1700 | 1730 | 実習終了後、佐賀関から宇部まではタクシー、JRで移動。宇部にて宿泊。 |
| 12/18 | K丸 | 2万 | 宇部興産5岸 | 宇部沖 | 出港 | 1045 | 1125 | |
| 12/18 | L丸 | 4万 | 宇部沖 | 宇部興産6岸 | 入港 | 1150 | 1250 | 実習終了後、宇部から岩国にJRで移動。岩国にて宿泊。 |
| 12/19 | M丸 | 2万 | 岩国D錨地 | 岩国室の木-12m | シフト | 0650 | 0745 | 実習終了後、岩国から姫路にJRで移動。姫路にて宿泊。 |
| 12/20 | N丸 | 4千 | 高砂A-1 | カナカドルフィン(高砂) | シフト | 1025 | 1055 | 姫路から高砂へ私鉄とタクシーで移動し実習開始。終了後、12/21水先教育センターで行われる修了試験に臨むため自宅を經由して神戸へ移動。 |

譲り受けた教科書

名誉会員 田中善治

横須賀市に家を新築し、定住してから38年。高度成長期の建築ブーム真っただ中に建てた家のあちこちがほころび、平成24年、建て替えの余儀なしに至った。建築当時、鶴見にあった会社の寮にいて陸上勤務していたので、仕事の合間に現場に度々足を運び、更地から完成まで逐次見てきた。その当時の現場の事情を敢えて一言で言えば「粗製乱造」としか言いようがない。築38年で建て替えるのは早過ぎるし勿体ないと誰しもが思うが、周囲を見渡せば同時期に建てられた家のほぼ半数以上は建て替えられている。中には築20年前後で建て替えた家も数軒ある。

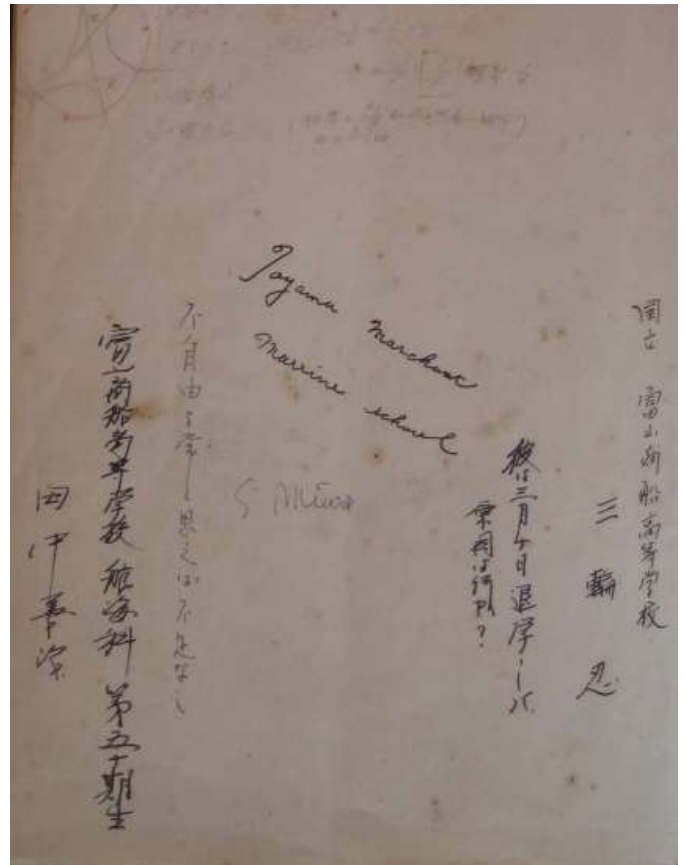
建て替えの期間、仮住まいに引っ越すことになり、知らず知らずのうちに蓄積された生活雑貨の整理に難儀した。それでも、三人の子供は既に家を出て独立していたからその分気楽ではあったが・・・。

最初に手掛けたのは書斎として使っていた二階の小部屋だった。書棚には雑多な書籍がぎっしりと並び、手作りの棚にも趣味の絵、写真、書道など関連のもので混雑していた。書棚の最上段の端に商船高校時代の教科書が三冊あった。文部省発行の「航海術（上）」「航海術（下）」「載貨」である。航海士として海上勤務していたころ、困った時のために、いつかは見るだろうと大事に取っておいたものだ。卒業以来52年、懐かしさもあり片付けを中断してページをめくった。

「載貨」では復原性について詳しく解説しており、かつて北米西岸で原木をデッキ積みした時の緊張感が蘇ってきた。又、「航海術（上）」の最初には「航海学とは」の短いコメントの後に「地球の形状と大きさ」「地軸及び地極」「大圏及び小圏」などが続き、航海士となるための最初の基礎知識

が初々しく並ぶ。次々とめくって奥付となり、その余白の落書きに目が止まった。

万年筆で首のない女性の裸体の線画が描いてあり、それ全体が同じインクで塗りつぶされている。記憶が一瞬にして一年生の時のある事件に戻った。次をめくると記憶通り、この教科書の持主だった三輪 忍君の筆跡で「国立富山商船高等学校 三輪 忍」その左側に「Toyama Merchant Marine school S. Miwa」とサインがあった。そしてその後に私の筆跡で「彼は三月十日退学した。原因は何か？」と思わせ振りにコメントが書いてあった。他方の余白には私の万年筆で、座右の銘としている徳川家康の「不自由を常と思えば不足なし」と共に「富山商船高等学校 航海科第五十期生 田中善治」と記されている。



『航海術（上）』の裏表紙をひらくと・・・

敗戦後の大混乱が徐々に落ち着いてきて TV 放送が始まったのが昭和 28 年。翌年に青函連絡船洞爺丸が台風で転覆し 1,011 名の犠牲者を出し、またビキニ環礁の水爆実験で第五福竜丸が被災する悲惨な事故が起きた。次の昭和 30 年には現在も政権の座にある自由民主党が結成された。良し悪しを別にすれば全国民のモチベーションが高揚していた。そんな時代、私は県立山形東高校を一年で自主退学し、富山県新湊市（現 放生市）にあった国立富山商船高等学校 航海科に入学した。行けるかどうかもわからない大学を目指すよりも、早く目標を得てそれに集中したかったからである。丁度二年前に母が病死し、継母が来てくれたものの家庭は寒々としていて一日も早く家を出たかったという背景もある。

昭和 30 年 4 月 7 日、雪山に囲まれた北山形駅を父兄として同行する 19 歳の兄と二人、奥羽本線下りで出発して約 18 時間、富山駅に着いた。チッキで送った荷物を受け取り、新湊へ行く地方鉄道に乗り換えた。電車に乗り降りする際、大きな荷物が邪魔になり他の乗客や運転手の輦蹙をかかったが、中身がほとんど夜具類だったから、冷や汗をかきながら力づくで押し込んで何とか切り抜けた。中新湊から学校迄数百メートル、その荷物を痺れた手を左右持ち替えながら歩いた砂利道は遠く、つらかった。指定された時間まで行けるかどうか気がかりだった。兄は乗り物酔いがひどく、いつもの元気はどこへやら終始無言だった。どうにか学校に辿り着き、急いで事務室の窓口で到着を告げると

「もう入学式は終わっているので、急いで寮の 12 号室へ行くように・・・」と素っ気ない返事だった。再び荷物を持って校舎と隣接する寮へ向かった。12 号室は寮の入口の近くだったのですぐにわかった。

恐る恐る部屋に入ると三年生の小田室長は制服姿で新入生とその父兄を前に、これから始まる

寮生活について説明していた。父兄の中には、洗面器は必要か？ 歯磨きにはコップが必要か？などと質問する方もおられた。多分、家から持ってきた荷物の中にそれが用意されてなくて心配になったのだろう。この部屋の新入生は五人で出身地は岩手、山形（私）、富山（二人）、石川だった。

兄と私は皆の後ろに小さくなっていた。私はこれから先の事で緊張していたが、兄の目は空ろで、ただ立っているだけだった。室長の話が終わると前もって決めておいたボンク（寝台）を指定され、各人荷物をそこに移動して荷解きにかかった。この時点で父兄は解散となった。

山形を出て約 19 時間、食事も休憩もなしにすぐ折り返し戻らなければならなかった兄の心情は如何ばかりだったか、と今思う。たまの帰郷にこの話を持ちだすと

「乗り物酔いでなにも覚えてないよー ワッハッハッハー」と笑い飛ばす。そうするしか仕方ないのだろう。

座学三年間は全寮制で、外出は土曜日の午後と日曜日だけ、土曜日の門限は 21:00、日曜日は 17:00 だった。

一学年、航海科 30 名、機関科 30 名、計 60 名。三学年で 180 名。これを 12 室に分割した。即ち各学年 5 名ずつ、計 15 名が一室の定員である。ただし、各学年とも中途退学者が出るので 14 名の部屋もある。

寮生活は 06:00 の「総員起こし」「巡検」「国旗掲揚」「体操」で始まり、21:00 の「巡検」で終わる。寮での生活規範は「迅速・確実・静粛」プラス「五分前精神」であり、対人関係では「一年生は奴隷・二年生は人間・三年生は神様」という何とも前近代的なおまけまでついた。一年生はジッと辛抱して早く「人間」に昇格したいと思い、二年生はやっと手にした「人間」の権利をフルに

活用して「奴隷」をいじめる。三年生は「神様」であるから悠然と構え「人間と奴隷共」を睥睨している。

ほぼ16歳から18歳までの男子だけの全寮生活。授業や部活でも消費しきれない有り余るエネルギーは時として下級生のいじめに走る。

21:00、各部屋の前に二列横隊に整列して室長が員数とその状況を宿直教官に報告する「巡検」が行われる。この後は就寝することとなるが、自習室に戻って勉強することは認められていた。だが、「奴隷」は巡検後に恐怖に襲われることがあった。同室の「人間」ばかりか他室の「人間」からも、体育館やグラウンドの片隅に呼び出され「説教」されるのである。陰湿ないじめを感じさせる「説教」。要は「奴隷」の生活規範の些細なミスを取り上げて詰（なじ）り、自己のストレス解消のために暴力を奮うのである。「奴隷」は直立不動のまま無抵抗を貫くしかない。

年に2、3回、宿直教官に通告の上、巡検前に全「奴隷」を講堂に集め、「人間」が集団で「説教」することも恒例化していた。この時は「人間」も「奴隷」も欠席は認められず、全員、制服・制帽・制靴だった。しかし、規律正しく行われる「説教」も中身は集団リンチそのものであった。

一年生の三学期の中頃のことと記憶しているが、この巡検前の「説教」が講堂で行われた。「奴隷」生活もあと僅かという時期、寮生活にも慣れ、多少羽目を外したくなる者も出てくるし、上級生とうまく付き合う術も身に着く。「人間」はその気の緩みを衝くのである。一方で「奴隷」は仲間内で誰が睨まれているかということも察しがつくようになる。この時は皆、最後の「説教」になるだろうと思っていたに違いない。

部屋別に直立不動で整列しているあちこちで「人間」から怒鳴られ、殴られている音が聞こえる。こちらに落度があるなら我慢もするが、理不尽な言いがかりに耐えるのはつらい。小一時間の

「説教」が済むと「人間」代表の「解散！」の号令のもと一号室から順に猛ダッシュで寮の自室に戻る。私は12号室だったから最後尾で講堂を後にした。

講堂と寮とは屋根付きのコンクリートの渡り廊下で隣接していて、寮の入口に縦横約90×60センチの鏡があった。皆われ先に走り去ってしまい、その鏡の前に一人、三輪君が立っていた。こんなところでモタモタしていると「人間」共にやられるのは必定である。私は背後から

「オイ どうした！」と声をかけた。彼は青白い顔して無言で鏡に向かい、口を大きく開けて「ここを見てくれ」と言わんばかりに口の中を指さした。一瞬戦慄を覚えた。口の中は血だらけで滴り落ち、中に白い歯らしきものが2、3個見え隠れしている。私はショックで思考が止まった、が、後ろには「人間」共が講堂から出てくる靴音が聞こえてきた。咄嗟に彼の背中を叩き「走るぞ！」と急き立てた。

この時の記憶はここまでしか無い。彼はたぶん二階の7号室だったと思う。自室に戻ってからどうしたのか、口の中の治療はどうしたのか、非常に気になったが、以降、本件を口にした者はいなかった。当時の雰囲気として寮で起こったことは口外しないし、学校側も例え知っていても問題視することはなかった。むしろ、このような「説教」は新入生にシーマンシップを叩き込む精神修養として黙認していたと思う。正に一昔前の大日本帝国軍人の新兵教育の残滓ではなかったか……。

三月の卒業式が近づくと、春めいてきたこともあって寮内はおだやかな空気に包まれる。そんな時、三輪君が退学するらしいという噂を耳にした。そして全くの偶然に、学校正面玄関で白っぽい和服姿の上品なご婦人を見かけた。その方は三輪君のオバさんで、保護者の代理として来校され、学校側と話し合われたとのことであった。三輪君の

保護者である父親は医師であることも、この時知った。

三学期の授業が終わると、皆が出て行って二人だけになった教室で三輪君が「航海術（上）」を差し出し

「田中、これやるよ。もらってくれないか。」と言った。突然のことで逡巡していると

「教科書もなくよくやっているなあー、と思っていたよ。」私は頷いたが続く言葉が出ず、ありがたく頂いた。

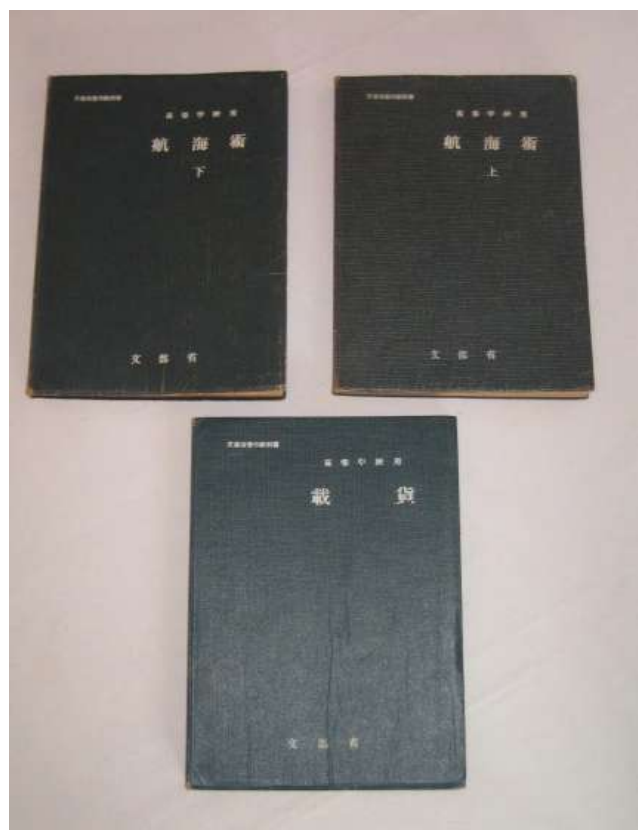
昭和31年3月10日、三輪君は航海科一年を修了して退学した。

譲り受けた教科書は付録を除く183ページのうち、一年生ではほぼ半分の96ページまで履修し、後半は二年生へと続いた。

私だけがなぜ教科書を持っていなかったのかを今思い出しても詮無いことである。が、齢八十を数え、健忘症になる前に微かに残る記憶を書き残すのも一興か、と考える。

入学して授業が始まる前にオリエンテーションがあった。教科書については「今、文部省で専門科目の教科書を順次新しく作り変えている最中である。「航海術（上）」については間もなく発行されるので、それまでは従来のもを使うが、新刊ができてそのまま従来のもを使ってもよい。それは各人の選択に任せる。」というものだった。私は奨学金の申請もしていることだし、なるべく出費を抑えようと最初から従来のもを使うことにしていた。

今、手元にある三冊の奥付には
航海術（上）昭和30年7月30日発行 378円
（昭和31年 3月 三輪君より頂く）
航海術（下）昭和31年10月15日発行 471円
（昭和32年 1月 購入）
載貨 昭和32年4月30日 発行 384円
（昭和32年9月 購入）



三冊の教科書

とある。尚、他の専門教科書については「航海術（下）」の「まえがき」に「航海計器（上、下）」は既に発行されており、「載貨」と「運用術」は編集中、と記載されている。

この時期は戦後十年経って、新しい教科書編纂の真最中だったのである。古い教科書と授業内容が一致せず、古いのはあってもなくてもよかったが、一応体裁振るためにも教室に持参していた。三輪君はそれを知っていたのだ。

因みに、奨学金を申請していたのに、何時迄たっても何の沙汰もなかったので担任の松崎教官に伺うと

「あ、そうそう、ダメだったよ」の一言だった。ダメならダメで仕方のないことであるが、なぜダメだったのかを知りたかったのだが・・・。

昭和33年3月、座学三年の本科を卒業した。卒業式には入学式と同様父兄の参列要請があっ

た。この頃、農業をしながら中央大学の通信教育を受けていた兄に再び来てもらうことにした。しかし、当日いくら待っても姿を見せないのである。途中事故にでも遭ったのか、などと気にしながら卒業式に臨んだ。時々父兄席に目をやるが見当たらない。式次第は順調に進む。卒業証書はもちろんのこと、精勤賞、功労賞、賞（賞名はない。本文に学業成績向上著しい者とある）都合4回も名前を呼ばれ、内心ホッとして晴々とした気分的一方、来るはずの兄がいない寂寥感もあった。そして、遂に式は終了した。

毎年この日の恒例になっている、生徒だけによるセレモニーがあった。学校の正面玄関から正門迄、S字にくねった小径の両側に下級生が並び、玄関から出てくる卒業生を拍手で送るのである。卒業生の出番は決められたルールがあるわけではないが寮の部屋別に出て行ったように記憶している。見送りが終わると、名残を惜しむかのように寝食を共にした部屋別に集まり、更に別れの儀式が行われる。卒業生を一人ずつ胴上げするのである。いじめられて恨みの対象となっている者の番には、事前の打ち合わせ通り力強く「ワッショイ！」と持ち上げておいてサッと手を引くのだ。ターゲットにされそうな卒業生もその雰囲気を感じていつの間にか姿を消すのだった。

セレモニーも一段落して、思い思いに写真を取り合っていた頃、正門に兄が現れた。冬の防寒コートに手提げかばん一つで、表情は冴えなかった。15号室全13名の集合写真に兄も入れてもらった。（この年度になぜか15号室までであった）兄の話によると、入学式の時と同じく乗り物酔いで判断が鈍り、富山駅で岐阜へ向かう高山本線に乗り換えてしまったらしく、思いもよらず大幅に時間をロスしてしまったとのこと。入学式も卒業式も、遠路遙々何とか学校までは辿り着いたものの、式場迄には到達できなかった情けない兄だった。この時のことも何も覚えていないと、今、豪快に

笑い飛ばす。

専攻科最初の6か月間は、全国五校の生徒約300名が運輸省 航海訓練所練習船 北斗丸、大成丸、銀河丸に夫々分乗しての実習だった。私は銀河丸に乗船した。

東京・竹芝棧橋に係留中の半舷上陸の日、同室の友人と上陸した。浜松町駅へ向かって砂利道を歩いていて、現在の島嶼会館のあたりで、後ろから来たタクシーが我々を追い越して急に止まった。タクシーの窓から顔が出て

「オーイ！ 田中」の声。一瞬戸惑ったが紛れもなく三輪君だった。突然のことでびっくり。

「ヨー しばらく・・・」お互いに積る話は山ほどあるが、状況が状況だけに長話はできなかった。彼は、銀河丸に商船高校時代のクラスメートが乗っているという情報を得て会いに来たが、皆上陸してしまい留守だった。仕方なくタクシーで帰る途中、見覚えのある私の後ろ姿を見つけて急に止めてもらった、とのことだった。行きずりの短い会話で別れたきり、現在まで会っていない。

この時、他の高校に行っていれば三年生の筈である。従って、彼が慶應義塾大学 医学部に入ったと噂で知ったのは翌年以降となる。

銀河丸での遠洋航海はニュージーランドの北島、オークランド往復だった。昭和33年6月25日東京港を出航し、すぐ船酔いが始まり一週間苦しんだ。オークランドは私の初めての海外の地であり、六日間大歓迎を受けた。

同年9月3日、銀河丸から帆船日本丸に転船した。日本丸は日本各港間のみで遠洋航海に出なかったのが皆の不満だった。

翌34年2月14日、社船実習のため岡山県・玉野ドックで三井船舶(株)(現(株)商船三井)の最上山丸に乗船した。予てから噂の通り、この船社での実習は体力で勝負という厳しいものだった。でも、実習させてもらう船社との間で互い

に納得し、何も問題なければその船社に就職が決まるという暗黙の了解があったから、どんな事にも充実感をもって取り組んだ。六か月間でニューヨーク定期航路に二回就航した。二航海目にはなすべき仕事も理解でき、また、50数名の乗組員の職務内容も分かって信頼関係ができた。

修学五年間の最後の半年間は卒業と国家試験準備のため本校に戻った。この時期は就職が決まる時でもある。一年半にわたる実習で皆一端(いっぱし)の航海士、機関士気取りになるのも宜(むべ)なるかなであろう。皆、町屋に下宿し、互いに訪問し合いながら情報交換するうちに次々と就職が決まっていく。三井船舶ではこの年採用中止の方針と知り、不安が募る。気がつけば航海科で決まっていなかったのは私一人だけとなった。卒業まであと一か月となったころ担任の松崎教官に、どこでもいいから紹介して欲しいとお願いしたところ

「えっ 君まだだったのか。エンジニアならあるんだけどなあ」だった。急いで機関科の情報を探ったところ、内海君が就職するかどうか決めかねていることがわかった。急いで彼を訪ね「日鐵汽船(内海君が実習した船社)でエンジニアを欲しがっているから私と一緒にいこう」と説得した。

彼は納得しOKしてくれてホッとしたものの、私だけを入社試験するという。日鐵汽船(株)海務部から手野氏が来校され、教室で一人、二時間余ペーパーテストを受けた。試験の監視役の手野氏と松崎教官は、氷見のブリが美味しいとか立山連峰は素晴らしい眺めだね、などと談笑していた。

数日後、松崎教官を通じて試験の結果を知らされた。

「採用内定とし、条件は卒業後一回目の国家試験で甲種船長まで合格すること、および甲種二等航海士資格の登録日を採用日とする。」だった。その通りとなり、私の採用日は昭和35年5月20

日となった。

昨年10月5日、毎年恒例のクラス会が神戸で開かれた。毎年参加者が減ってくるのは自然の法則上仕方のないこと。この時は同伴夫人二人を含めて15名だった。宴会の席で三輪君の消息を知っている者がいないかと探したがムダだった。ただ、ほぼ全員、彼が慶應義塾大学 医学部に入ったことは知っていた。

私は諦めきれず方々手を尽くしてみた。駄目だとわかってはいるが、一縷の望みを持って慶應の卒業生・在学生の名簿等を管理する団体に電話してみたり、母校の学籍簿を調べてもらえないかとお願ひしたが、個人情報管理の法律の壁は思った通り強固だった。

本科卒業アルバム末尾に卒業生全員の住所と保護者名が載っている。このアルバムには一年生で退学した三輪君は当然載っていない。が、ひょっとしてどこかに何かあるかも? と書棚にある当時のものを丁寧に見ていたら一年生当時の三輪君の住所が偶然見つかった。多分、譲り受けた教科書のお礼にと手紙を書いたのかも知れない。早速、埼玉県狭山市3531 三輪 忍様宛、事の詳細を書いて出状した。だが、十日ほどして「あて所に尋ねあたりません」として空しく返送された。62年も前の住所表示が今も使われていると思っている訳ではなかったが・・・。

商船高校 航海科に入学して、最も重要な専門科目である航海術の教科書を譲り受け、二年生からそれで勉強したことは本当にありがたいことだった。直接三輪君に会って改めてお礼を言わない限り、処分する気にはなれない。

(平成30年3月1日 記)

死ニ方用意（1）

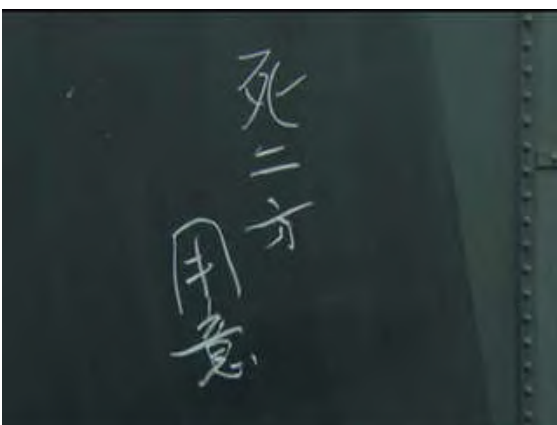
相続コンサルタント 中田千太郎

私の好きな映画の一つに、「男たちの大和」があります。船のお仕事に携わっている皆様ですので、観た方が多いのではないのでしょうか。この映画の内容は割愛しますが、私がとても印象に残ったシーンが、上官に、「それぞれの立場での死に方を用意しろ」と、諭されるところです。

仕事で年間約 60 件の相続相談を受けておりますが、この「死ニ方用意」が出来ていない方、間違った認識を持たれている方、ゴールを見失い手段ばかりを追い求めている方が非常に多く見受けられます。

皆さんは特に死の危険性も伴う船乗りのお仕事ですので、このシリーズのご内容は、皆さんのみならず、ご家族の皆さんにも一緒になって見て頂きたいと思います。

今回の第一回目は、「争続」の要因についてお伝え出来ればと思います。



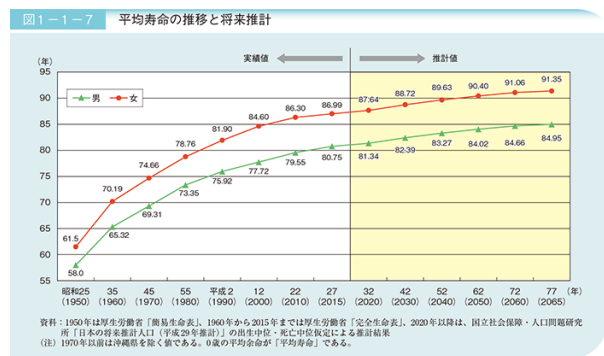
争続の要因は、意外に身近なところに潜んでいますので、自分事に捉えながらご確認頂ければと思います。

1. 揉め事の要因

元気なご高齢と平均寿命の延び

まずは日本の現状を知って頂きたいのですが、下記が平均寿命の推移です。

少しデータが古いですが、2015年の平均寿命は、男性は 80.75 歳です。



※内閣府ホームページより参照

着目してもらいたいのは、つい約 70 年前の 1950 年の平均寿命は、58 歳だったということです。

ですので、昔は相続が発生したとしても、子世代が 30 代・40 代の活動的な時に世代交代が起こることが多かったのですが、現在は、50 代・60 代、下手すると 80 代になってからと、ご高齢になってから親から相続を受けることが多くなりました。

そのため、受け取った資産を上手く活用する元気が無かったり、受け取る時点で認知症になっていたりお亡くなりになって次の世代が相続人になったりと、新たな問題が発生してきています。

2. 揉め事の要因

認知症の拡大

これも恐ろしいことですが、皆さん死なないと思っている以上に、ボケないとも思っています。

下記は日本の認知症高齢者の統計データによると、認知症予備軍もあわせると認知症患者は約820万人となります。65歳以上の高齢者の人口2874万人で考えると、4人に1人が認知症という事になります。

このように認知症は大変身近な問題となってきたにも関わらず、みなさんあまり危機意識がありません。



<認知症になる(意思判断能力が無くなる)と出来なくなること>

- ・銀行預金の引き出し
- ・契約行為(顧問契約、売買契約、請負契約、生命保険契約、等)
- ・遺言書の作成
- ・遺産分割協議

上記の様なことが出来なくなります。

成年後見制度を使用すると、一部可能になるものもありますが、制約が厳しかったり、多くの費用が掛かったり、また一度制度を利用したら亡くなるまで解除はできない等、とてもデメリットが多くなります。

3. 揉め事の要因

自分の家族は仲が良いと思っている

人生の先輩方とお会いした時に、私は良く「相続対策はされないのですか?」とお聞きします。

すると大概の方は「ウチは家族が仲良いから大

丈夫!」とおっしゃいます。そこですかさず「では、ご家族皆さんの好きな食べ物や、好きな色、今一番行きたいと思ってる場所や、一番好きな曲はご存知ですか?」と尋ねると、全て答えられる方はいませんでした。また、答えられたとしても、ご帰宅後にご家族の方に正解を確認すると全て当てられる方はいないと思います。(私も奥さんについて全て答える事は出来ませんでした…)

つまり、こんな簡単な質問にも答えられないほど、実は家族の事は分かっているようで分かっていないものなのです。

同じ血を分けた親子・兄弟でも考え方は全然違いますし、相続問題になると予想もしていなかった配偶者や親戚といった血も繋がっていない当事者以外の口出しも多くなり、仲が良かった家族の絆が壊れる現場を幾度となくみてきました。

年々家族の絆が薄れてきている証拠に、年々遺産分割事件の件数が伸びている事が下記グラフにより読み取れると思います。



※裁判所のホームページより

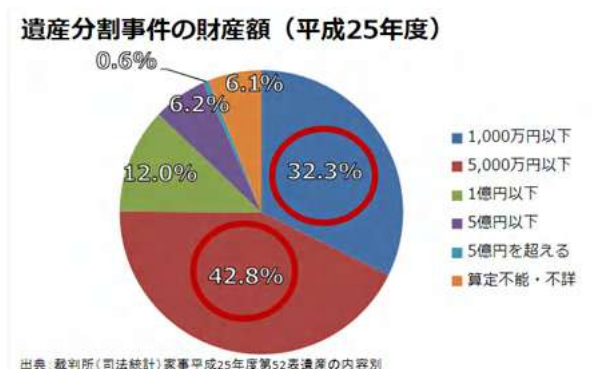
4. 揉め事の要因

資産が無いから大丈夫と思っている

これもよく3の質問の回答で頂くお答えなのですが、資産が無いから大丈夫と思われている方も非常に多いです。

ですが、現実には資産が少ないからこそ揉めているケースが多いです。平成25年の司法統計では、実に75%の揉め事が財産額5,000万円以下の相続事案です。

金額の大きな方の割合が、全体的に少ないという事もありますが、金額の大きな方々は事前にしっかりと対策を進めているケースが多く、揉め事になる事が少ないという事が大きいと思います。



5. 揉め事の要因

節税対策が相続対策だと勘違いしている

相続対策はよく節税対策と勘違いされますが、実は違います。お金や不動産といった資産をより多く次の世代へ残してあげることも大切ではありますが、それと同じくらい気持ちや想いといった財産を次の世代へ伝える事も大切です。「公正証書遺言があったのに…」「相続税は掛からなかったのに…」と、相続が発生した後に揉め事に発展し、家族がバラバラになるケースも多く見受けられます。

これは、節税対策に気を取られ、気持ちや想いをしっかりとした形で残さなかった事や、元気なうちに家族を巻き込んで相続対策をしなかったために起こりうる問題です。

6. 揉め事の要因

信頼していた専門家が実は相続に強くなかった

平成28年の相続税の申告件数は約14万件でした。それに対して、税理士の登録者数は平成30年2月末時点で約8万人です。私の親みたいに自身で相続税の申告を行う方もいると思いますので、ざっくりですが税理士1人が1年間に

行う相続税申告は1件程度ということになります。

また、平成25年の遺産分割事件数は約9千件でした。それに対して、平成27年時点の弁護士数は約3万6千人です。弁護士1人が年間に行う遺産分割事件数は、1件にも満たないのです。

相続に強いと唄っている専門家さんは、お一人で数件の事案をこなしていると思いますので、それ以外の専門家さんはほぼ相続には携わっていないこととなります。

銀行も建築会社と結託して建築（融資）ありきの提案を行ってきたり、自分たちが遺言執行人となるような遺言信託を勧めてきたりと、侮れません。

皆さんの身近にいる専門家さんは、本当に相続のプロでしょうか？今一度確認が必要だと思います。

7. まとめ

今回は揉め事の要因だけに絞ってお伝えさせて頂きましたが、みなさんは該当していませんでしたでしょうか？

一人で悩むと相続の問題は直ぐに行き詰ります。また、本当の問題が何かを見失っているケースも多いですし、間違った専門家へ相談されている方もいます。

揉め事の要因を踏まえて、今回は相続対策の第一歩をお伝え出来ればと思います。

筆者紹介

相続コンサルタント 中田千太郎

平成12年富山商船高専入学、平成25年から相続の世界に飛び込み、現在は日本各地で相続セミナーを行う傍ら、年間60件近くの相続相談を受けている。不動産と家族間の気持ちの調整に強く、揉めない心の相続で評価を得ている。

会社紹介 上野トランステック株式会社

上野トランステック株式会社はエネルギーの総物流企業である上野グループの中核会社です。外航部門は東京、シンガポール、マニラで船主兼オペレーター事業を展開し、内航部門は6,000KL 積石油船4隻とエチレン船1隻を所有し、100名の船員を擁する船主であり、且つ約70隻のタンカーを運航するタンカーオペレーターです。

上野グループの歴史は1869(明治2)年まで遡り、はるばる松山から出てきた一人の若者が、文明開化の真っ只中であつた横浜で、旅館兼回船問屋を始めたところからスタートしました。

かつては四国最大の大藩であり徳川の親藩であつた松山藩は、ペリー艦隊の黒船来航の際に神奈川沿岸一帯の警護を任せられ、上野グループの創業者である上野金次郎も、藩士の一員として開港間もない横浜にやってくる、多くの外国人が集まり活気溢れる貿易港の空気に触れました。



りんどう丸

横浜に魅せられた金次郎は、一度帰郷したのち再び横浜に舞い戻り、現在の横浜市中区吉田町に木造二階建ての旅館兼回船問屋「丸井屋」を開業。房総沿岸からの食料や旅客の輸送により大いに繁盛しました。

二代目、上野亀太郎の時代には、昭和シェル石油の前身である「ライジングサン社」からの依頼により、沖合の外航船から貯蔵所まで石油を運び国内各地に陸上輸送するという、ほぼ現在と変わらぬ業務を請け負うようになり、今日の上野グループの基礎を築きました。

その後事業は順調に拡大し、社名も丸井屋から上野回漕店、さらに1927年(昭和2)に上野運輸商会へと変わり、その間には1899(明治32)年の吉田町の大火、1923(大正12)年の関東大震災により2度の被災を経験し、金融恐慌や日中戦争を経て時代は太平洋戦争に突入します。

大戦を迎えるとライジングサン社は営業停止となり、上野運輸商会は横浜から瀬戸内海の糸崎に営業拠点を移し、軍の命により航空燃料の輸送に従事しました。

戦後の混乱期、後に3代目社長となる上野豊は大阪に出て鮮魚輸送を行っていましたが、1947(昭和22)年の夏、上野運輸商会の所在を探していたライジングサン社の社員と偶然に再会します。この再会からほどなくして、ライジングサン社は上野運輸商会と日本に於ける石油類輸送全般のソール・エージェント契約を締結し、今日に至る新たなパートナーシップがスタートすることとなりました。

上野グループは戦後のガソリン国内海上輸送事業の再開を皮切りに、タンクローリーによる陸上輸送、ケミカル海上輸送、外航事業、シンガポール・香港・マニラなどでの海上・陸上輸送事業、ま

た周辺事業である船舶代理店、石油販売及びガソリンスタンド経営、油槽所運営や設備工事、保険代理店など着実に業容を拡大し、1998(平成 10)年には海運部門の上野運輸商会と上野ケミカル運輸を統合し上野トランステックが発足、今日では「海運」「陸運」「海洋環境」「石油基地管理」「販売」「新エネルギー」「グループ戦略」の6部門38社で構成される総合物流企業体となっています。

私たちの仕事は、お客様の石油製品を指定の場所から指定の場所までタンカーで運ぶこと。いかにも単純に聞こえますが、お客様に対し安全に関する最大の配慮と抜群のコストパフォーマンスといった付加価値を提供し続けることこそが私たちの存在価値です。

なかでも安全輸送の継続は私たちの生命線であり、2012年、2015年、2017年には最新技術を導入した社船のリプレイスを実施、残る2隻も2019年と2021年にリプレイスの予定です。また社船船員の平均年齢は37歳、乗組員100名中40名が20代と若いですが、様々な教育プログラムにより新しい技術やルールを学ぶ機会を与え、能力重視の上位職登用を実施しています。

求められるサービスクオリティのハードルは年々上昇していきませんが、私たちは海上輸送のノウハウと共に「誠実さ」や「丁寧さ」、「創意工夫」といった創業以来の企業スピリットをきちんと受け継ぎながら、プロフェッショナルとして最高の提案・サービスを提供することで、お客さまからの全幅の信頼に答えています。

「社会に対しどのように貢献し、お客様に対して何が出来るのか」という視点で仕事を続けてきたことで150年続いた上野グループ。

これからも200年企業となるべく、長年培ったノウハウや技術、信頼をもとに新しい時代にチャレンジし、お客様にとっての良きパートナー、社会に貢献し続ける企業グループであり続けます。

そして、その為にも私たち上野グループは、働く社員ひとりひとりが成長し、自己実現する場でもありたいと強く願っています。



「きんれいか」進水式



創業150年感謝パーティー

◇内航貨物船/需要旺盛、堅調続く。東京五輪・都市再開発、燃油高は懸念材料

内航貨物船の荷動きは足元で堅調さを維持している。今冬は日本海側を中心に荒天の影響による輸送障害も発生したが、東京五輪・パラリンピック関係工事や都市再開発などで輸送需要自体は旺盛な状況だ。今春以降もこうした流れが続く見通しで、活発な荷動きが期待される。一方、定期船では国内需要が低迷する製紙関係の輸送は減少傾向だが、荷主などから長距離輸送を船主体の輸送に切り替えるモーダルシフトの引き合いは続いている。

日本内航海運組合総連合会が毎月まとめている主要元請けオペレーター60社などの輸送実績調査によると、2017年の貨物船輸送量は前年比4%増の2億2184万トンと3年ぶりにプラスに転じた。

18年に入って、日本海側などで荒天が続いたことで輸送障害が発生したが、内航関係者は「鉄鋼など輸送需要自体は高い」としており、鋼材船などの荷動きは活発だ。

2月20日に開かれた内航大型船輸送海運組合の会見でも、同組合幹部から荷動きに関する説明があった。

内航大型船輸送海運組合の栗林宏吉会長(栗林商船社長)は北海道定期航路などの現状について「1、2月は大雪の影響でトラックドライバー不足に拍車がかかった。簡単に海上シフトはできず時間はかかると思うが、モーダルシフトのニーズはある」と説明する。

田島哲明副会長(近海郵船社長)は「北海道航路は先行してモーダルシフトが進むが、新たに船を利用するという流れが少しずつ出ている」と話す。九州航路について、同組合業務委員会の小川孝之副委員長(商船三井フェリー取締役)は「モーダルシフトの流れは確実にきてい

る。年末の繁忙期に『明日にでもすぐに対応してほしい』という声があった。一過性のものかと思っただが、年明け以降も続いた」と述べた。

不定期船分野も堅調だ。中島正歳副会長(商船三井内航社長)は「鋼材の荷動きは、17年の輸送量が前年比7%増となったように良く、鋼材船は忙しい状況。18年度もこうした流れが続くのでは」との見方を示した。山田貢業務委員長(北星海運常務)はばら積み貨物の輸送動向について「東京五輪・パラリンピック関連向けの輸送が昨年8月以降際立って増えており、小型船が動き出している。当社で扱っている大型船にも声が掛かり、毎週のように引き合いがある。ここまでの状況になるのは久しぶりだ。18年度も天候さえよければ順調だろう」と見通した。紙・パルプ輸送では内需低迷で「じわじわと荷物が減ってきている状況」(田島氏)だが、多くの品目で荷動きが堅調な状況が続く。

一方で、内航船社にとって燃料油価格が上昇基調にあることは懸念材料だ。足元では、C重油で1キロリットル当たり5万円を超える水準となっている。

(日本海事新聞 2018年3月6日付け)

◇近海郵船/敦賀―博多、新航路を検討。RORO船、来春にも週3便。早期デイリー化めざす

RORO船やコンテナ船による定期航路などを運航する近海郵船(田島哲明社長)は8日、敦賀港(福井県)と博多港を結ぶRORO船の定期航路新設に向けた検討を開始したことを明らかにした。今後、具体的な輸送貨物の動向などを精査し、事業化の可能性を見極めて2019年春からの開設を目指す。当初は1隻・週3便体制で運航開始し、できるだけ早期に2隻でのデイリー化を実現させたい考え。同社では、深刻化するトラックドライバー不足などを背景に、モーダルシフトの受け皿の役割を果たしたいとしている。

新航路は両港間をシャトル便として運航し、航海時間は 19 時間前後を想定。具体的な投入船や船型などは「検討を進めている」（同社）とコメントする。同社が検討を進める新航路が 19 年春の運航開始となれば、02 年 6 月開設の敦賀-苫小牧(北海道)航路以来、17 年ぶりとなる。

今回、新航路開設を検討する理由について、同社は「近年のトラックドライバー不足や環境問題を背景に、モーダルシフトの受け皿として内航海運、特に RORO 船事業の存在感が高まっている」とし、「関西・中京・北陸圏の日本海側の玄関口として重要な役割を持つ敦賀港と、九州経済を支える中枢港湾の博多港を結ぶことで、九州-本州間の広域輸送区間でのモーダルシフト促進に貢献できる」と説明。さらに、「敦賀港で博多航路と苫小牧航路を接続すれば、北海道-九州間に最速・高頻度の新海上輸送ルートでのサービスを提供できる」とした。

RORO 船やフェリーによる国内定期航路新設は近年まで多くなかったが、トラックドライバー不足によるモーダルシフトなどを背景に、川崎近海汽船が 16 年 10 月に清水-大分 RORO 航路を開設し、今月 5 日から 2 隻でのデイリーサービスを始めた。6 月には宮古(岩手県)-室蘭(北海道)フェリー航路も新設する。

近海郵船は現在、RORO 船 7 隻(専用船含む)、コンテナ 1 隻の 8 隻で 5 航路を運航。15 年に敦賀-苫小牧航路に従来船を大型化した 1 万 1500 総トン型新造船 3 隻を代替投入。今年 1 月には常陸那珂(茨城県)-苫小牧航路に同型の新造代替船「まりも」がデビュー。3 月 14 日には「ましろ」も就航させる予定で、輸送力の向上・安定化を図っている。

(日本海事新聞 2018 年 3 月 9 日付け)

◇内航総連/暫定事業後の業界の在り方。基本方針合意、5 項目

日本内航海運組合総連合会の小比加恒久会長は 15 日、広島市内で開かれた理事会後の記

者会見で、「暫定措置事業終了後の内航海運の業界の在り方」に関する基本方針がまとまったことを明らかにした。同方針は 14 日に同市内で開催された内航総連の正副会長会議で合意されたもので、業界として今後実施していく事業などが盛り込まれている。小比加会長は「正副会長間で特に反対のなかった 5 項目を明記している。細部は今後掘り下げていきたい」との意向を示した。

今回の議論は、国土交通省が昨年 6 月に取りまとめた「内航未来創造プラン」で、「暫定事業が果たしてきた役割に対し、どのような対応が考えられるのか。内航海運組合の役割を含め検討する」と明記されたことを受けたもの。

今後、1 年をかけて具体化に向けた議論をさらに進めていく考えだ。正副会長会議での議論の具体的な内容が公表されたのは今回が初めて。

基本方針は次の通り。

1. 「内航海運業界を代表する中央組織が必要であり、同組織の下で以下の事業を中核として位置づけ、今後 1 年をかけてその具体化に取り組む」

2. 「船員の労働力不足対策、特に若年労働者の確保対策は内航海運業界の直面する最大の課題であり、これに対応するため、新規事業として民間で行う船員の人材確保・育成事業を本格的に立ち上げる」

3. 「内航海運事業者の信頼性確保、新規参入者の順法意識の醸成、地方組織活性化などの観点から、内航海運適正化事業の実施に向けて政府と協議する」

4. 「基金を造成し、船員対策、環境対策など多様な事業に活用する。詳細については今後検討する。また、将来大幅な経済不況が生じた場合は、当該基金を活用した対策を講じる」

5. 「その他、政策提言、陳情・ロビー活動、環境・安全問題、モーダルシフトへの対応などの諸施策について具体化に向けた検討を進める」

(日本海事新聞 2018 年 3 月 19 日付け)



富山高等専門学校

○急速電池対応型電池推進船「らいちょう I」の試乗会を開催

平成29年11月8日(水)、本校臨海実習場において、急速電池対応型電池推進船「らいちょう I」の試乗会を開催しました。

「らいちょう I」は、平成22年に東京海洋大学が開発した世界初の急速充電対応型電池推進船で、本校の賞雅校長が、同大教授当時、研究開発リーダーを務めたものです。

同船は、電気自動車の急速充電規格を採用し、騒音や振動が少なく、航行中の排気ガス等を出さないなど、優れた環境特性と快適性を持つ次世代水上交通システムです。

東京海洋大学の協力のもと開催された試乗会には、本校及び同大の関係者及び多くの報道機関の方に乗船いただき、「らいちょう I」の運行性能や乗り心地を確認していただきました。

今後は、富山湾の海洋調査等に活用するため、航海試験を繰り返していく予定です。



「らいちょう I」試乗

○練習船「若潮丸」の海洋観測の成果が海洋調査技術学会で永田賞（優秀論文賞）を受賞

千葉元商船学科教授が筆頭著者である論文が、海洋調査技術学会の永田賞（優秀論文賞）を受賞し、11月6日（日）に開催された海洋調査技術学会総会において、表彰されました。

永田賞とは、海洋調査及び技術の進展に功績を挙げた論文を表彰するものです。

受賞論文は、道田豊東京大学大気海洋研究所国際連携研究センター教授、古山彰一本校電子情報工学科教授、橋本心太郎元本校「若潮丸」一等航海士（助教）による共著論文で、「船舶搭載型 ADCP で捉えられた富山湾の流れの特性」－夏季湾奥部に発生する反時計回りの渦について－と題し、本校が有する練習船「若潮丸」での長年の海洋観測の成果を取りまとめたものとなっています。



から千葉教授、賞雅校長、古山教授

○「2017 富山高等専門学校講演会」を開催

平成29年12月6日（水）に富山市芸術文化ホール（オーバード・ホール）において「2017 富山高等専門学校講演会」が開催されました。今回は作家で明治天皇の玄孫にあたる竹田恒泰氏をお招きし、「日本はなぜ世界でいちばん人気があるのか」と題した

講演が行われました。

竹田氏は、約 1800 名の学生、保護者、教職員を前に、日本の国の成り立ちをふまえて、日本の産業技術の優れた点や仕事に対する考え方について、ユーモアを交えながらわかりやすく説明されました。学生からの「グローバル化する社会についてどのように考えればよいか」などの質問にも、一つ一つ丁寧に答えになりました。

富山高等専門学校講演会は、21 世紀を担う学生たちに夢と希望を与えることを目的に、本校後援会との共催により 2 年に 1 度開催されており、司会進行は学生が務めます。



質問をする学生

○「海事キャリア教育セミナー」を開催

12 月 12 日（火）に「次世代海事人材プロジェクト」事業の一環として商船学科学生を対象とした「海事キャリア教育セミナー」を開催しました。本セミナーでは、日本船主協会、全日本船舶職員協会及び全日本海員組合から講師をお招きして、5 高専（富山、鳥羽、広島、大島、弓削）を GI-net システムで結び、「海事技術者のワークライフ～海事技術者になるための途について～」と題し、講演を行いました。また、今回は、海事・海洋の魅力を伝え、次世代の海事人材のすそ野拡大のために、本校商船学科在学生の保護者及び富山県教育委員会後援のもと、県内中学校にもセミナー開催案内を行いました。当日は、5 校の学生及び保護者約 522 名が出席し、学生が自身の将来像を描くための一助となる有意義なセミナーとなりました。



富山会場

○「とやま KOSEN 研究推進フォーラム」を開催

平成 30 年 1 月 18 日（木）及び 19 日（金）に、「とやま KOSEN 研究推進フォーラム」を開催しました。本校は、今年度研究推進モデル校として、研究・教育の高度化に係る様々な取り組みを実施しており、本フォーラムはその一環として開催されました。

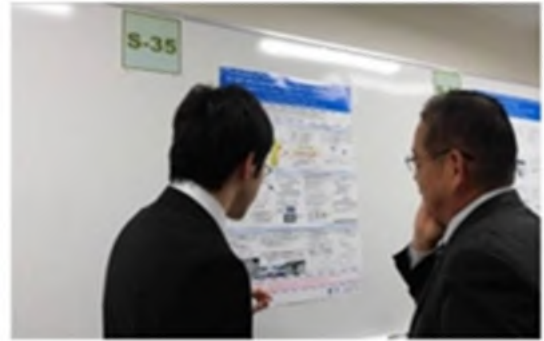
1 月 18 日（木）は、富山県民会館を会場とし、基調講演（スイス連邦工科大学チューリッヒ校 武田靖特別研究員）と 2 本の特別講演（韓国慶熙大学工学部環境科学工学科 Young-min Jo 教授、韓国国立がん研究センター Chankyu Kim 研究員）に続き、東海・北陸・近畿地区の各高専の研究紹介が行われました。フォーラムでは、第 18 回グリーンイノベーション研究会も同時開催され、本校の学生、教職員、および技術振興会会員企業の技術者など約 150 名参加し、最先端の研究に関する講演が行われました。

1 月 19 日（金）は、本郷キャンパスに会場を移し、学生と技術振興会会員企業によるポスター発表および技術紹介が行われました。学生によるポスター発表は、本校及び他高専の専攻科生 54 名が参加して行われ、学生たちは英語による成果発表を行いました。

両日ともに多くの参加者があり、活発な意見交換が行われました。



講師による講演の様子



専攻科生によるポスター発表の様子

○キャリアガイダンスによる特別講義

「商船学科1年生の航海、機関コースの選定へ向けて」 当校では、学生の進路選定の指導と手助けを行うべく、各業界の実務経験者の講義による「キャリアガイダンス」を実施しています。1月31日(水)には商船学科1年生を対象として、内海水先人の栗阪肇氏による特別講義「外航船員を経て水先人の経験から見た海技者の世界」を実施して頂きました。栗阪氏は、LNG船、ばら積み船、石炭船等の航海士と船長として十数年の海上履歴を積み、現在は内海水先人として活躍されています。今回が、当校での3回目の特別講義となります。

当校の商船学科は、これまで入学時から航海、機関のコース分けを行ってきましたが、現在の1年生からは2年生への進級時に、このコース分けを行うことになりました。このため、今回の1年生は自分がどちらのコースを選択するか良く考えるようになり、この参考にして欲しい意図もあり、栗阪氏に特別講義をお願いしました。講義の場面では、1年生にも分かりやすいよう、栗阪氏の様々な船種や航路での経験談があり、学生の多くが非常に興味深く聞いておりました。また、質問コーナーでは、船員の実際の生活について、学生時代にしておくべきこと等の多くの質問が出ていて、栗阪氏の豊富な経験から、様々なお話を頂きました。これから航海、機関と各コースを選定していく1年生にとって、貴重な時間を過ごせたことと思えます

是非、全船協会員の皆様にも、機会がありましたら、こうしたガイダンスにご参加頂けたらと思います。



内海水先人 栗阪肇氏による商船学科1年生への特別講義

○平成29年度 商船学科席上課程修了式を挙

2月23日(金)、商船学科5年生の席上課程修了式を挙りました。本年度は33名(航海コース17名、機関コース16名)の学生が席上課程を修了しました。席上課程を修了した33名の学生は、4月から約半年の海技教育機構の練習船実習に臨みます。



平成29年度 商船学科席上課程修了式

○平成29年度 卒業証書・修了証書授与式を挙 行

3月13日、卒業証書・修了証書授与式がオーバードホールにて挙行されました。本年度の本科卒業生は181名(商船学科を除く5学科)、専攻科修了生は42名でした。



平成29年度卒業証書・修了証書授与式

○教職員の異動

平成29年度をもって、商船学科富山高専 射水キャンパスでは以下の先生方がご定年退職、他高専へ異動されました。

【退職】

見上博 先生 (商船学科)

篠島司郎 先生 (商船学科)

新開純子 先生 (電子情報工学科)

【異動】

千葉元 先生 (商船学科) 大島商船高等専門学校商船学科へ

○平成30年度前期(4月~6月)の主な行事予定

- 4月5日 入学式
- 4月6日 始業式・対面式・前期授業開始
- 4月13日 健康診断
- 6月18、19日 1年生合宿研修
- 5月26、27日 北斗祭球技大会
- 6月6~13日 前学期中間試験
- 6月18、19日 1年生合宿研修

(教務主事補 千葉元 記)

○第35回全日本中国語スピーチコンテスト全国 大会

1月7日(日)、日中友好会館で第35回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会が行われ、国際ビジネス学科3年の学生がスピーチ高校生部門で第3位となり、また共同通信社賞も受賞しました。「話すこと」をテーマにスピーチを行い、その後の中国語による質疑応答でも流暢に答えました。



全国高専英語プレゼンテーションコンテスト

○学生会長選挙

1月24日(水)、本校射水キャンパスにおいて平成30年度学生会長選挙が実施されました。今年は2名の学生が立候補し、各立候補者の応援演説および立候補者演説が行われました。開票の結果、国際ビジネス学科3年の学生が当選し、次年度学生会長に決まりました。また学生会副会長や各委員会の委員長も決定し、学生会の新体制が整いました。

2月16日(金)には本校の本郷キャンパス学生会との合同リーダー研修会を実施しました。この会では学生会メンバーによる情報交換や、次年度の2キャンパス合同行事に関する打合せ、学園祭実行委員会による準備状況の報告などが行われました。



学生会選挙(立候補者演説)



学生会選挙（投票風景）

北斗会便り

本年度の総会と懇親会を下記日時で開催いたします。
皆様の奮っての出席をお待ちしております。

記

1. 日時 平成30年5月12日（土）14:00～
2. 場所 理事会・総会・懇親会
富山電気ビル レストラン
3. 連絡先 笹木事務局長 080-3046-2978

以上



学生会選挙

○卒業生を送る会

2月23日（金）、射水キャンパスにて卒業生を送る会が開催されました。この行事は学生会有志により企画された行事で、今年度で3回目の開催となります。在校生送辞や卒業生答辞のほか、卒業生の投票により選ばれた3人の教員から、卒業生へのメッセージが送られました。また入学時からの5年間を振り返る動画も流され、高専での成長や思い出に浸る会となりました。



卒業生を送る会

（学生主事補 商船学科 山田圭祐 記）

鳥羽商船高等専門学校

学校だより

○第2回国際交流報告会を開催

10月31日(火)、マルチメディア教室において、第2回国際交流報告会を開催しました。今回の報告会では、以下のことについての発表がありました。

1. MEL Camp 平成29年9月 参加学生6名
2. SMA鳥羽丸トレーニング 平成29年9月 参加学生14名
3. オタゴポリテクニク就業経験プログラム 平成29年9月 参加学生2名(トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム【高校生コース】に採択されています。)
4. 短期ロサンゼルス海洋研修 平成29年8月～9月
参加学生1名

約60名の学生や教職員が集まり、英語によるプレゼンテーションに熱心に耳を傾けました。最後に、副校長から講評がありました。また、報告会終了後には、後期の国際交流プログラムについての説明を行いました。



第2回国際交流報告会

○少林寺拳法三重県大会で学生3名が最優秀賞受賞

10月29日(日)、松阪市のさんぎんアリーナにて開催された「みえスポーツフェスティバル2017 少林寺拳法創始70周年 三重県連盟設立40周年 東北・九州災害復興支援少林寺拳法三重県大会」において以下の学生が最優秀賞を獲得しました。

【一般女子自由組演武級拳士の部】

SE3 東 美里

M3 伊藤星奈

【一般男子単独規定演武初・二段の部】

S2 清水大椰



最優秀賞受賞の3学生

○練習船「鳥羽丸」、名古屋港でセイルドリル見学航海

11月11日(土)、名古屋港110周年記念イベントに練習船「鳥羽丸」が参加しました。

船内一般公開の後、希望者が乗船して名古屋港内のミニクルーズ(航海)を行い、同時開催されている帆船「日本丸」・「海王丸」のセイルドリルを鳥羽丸船上から見学しました。

鳥羽丸航海及び日本丸乗船の両体験企画には、合わせて50名を超える応募者があり、帆船の実習生(鳥羽商船の学生を含む)による勇壮なセイルドリル訓練の見学を楽しんで頂きました。



名古屋港の鳥羽丸



海王丸セールドリル

○第6回気象文化大賞「高校・高専 気象観測機器コンテスト」最優秀賞・代表理事特別賞受賞

11月18日（土）、一般財団法人WNI気象文化創造センターにより開催された「高校・高専 気象観測機器コンテスト」において、制御情報工学科4年生と3年生から構成される2チームが、本選参加32チームの中から最優秀賞（全国1位）と代表理事特別賞（3位相当）を受賞しました。

最優秀賞を受賞した「おんぷら」は、気温のみを測定し、有効積算温度を用いることで農作物の収穫時期や害虫発生ピークを予測するシステムです。予測結果をウェブで手軽に閲覧出来るため、誰でも簡単に農作物の収穫時期や害虫の防除時期を判断できます。観測機器としてはシンプルでありながら必要性、応用性に優れている点で高く評価されました。

代表理事特別賞を受賞した「かきいれどき」は、牡蠣コレクタの画像、水温や塩分濃度等の気象情報を測定することで牡蠣種苗のコレクタへの付着状況を遠隔で観測するシステムです。牡蠣養殖業者がスマホやPCで、どこでも牡蠣コレクタの状況把握ができることを目指したものです。地域に根差した観測機器であり、実用性、実践性に優れた点が高く評価されました。



気象文化大賞文化大賞受賞学生

○ロボットコンテスト全国大会結果

12月3日（日）、「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2017」全国大会が東京都江東区の有明コロシアムで開催され、本校から地区大会を勝ち抜いたロボコン部チーム（ロボット名「鳥羽G3」）が出場しました。

1回戦第1試合の開幕戦に出場、残念ながら舞鶴高専相手に初戦敗退となりましたが、奨励賞を受賞することができました。

なお、この様子は、ライブストリーミングで全世界に生放送されました。



作戦打ち合わせ



戦場セッティング



敢闘後のインタビュー



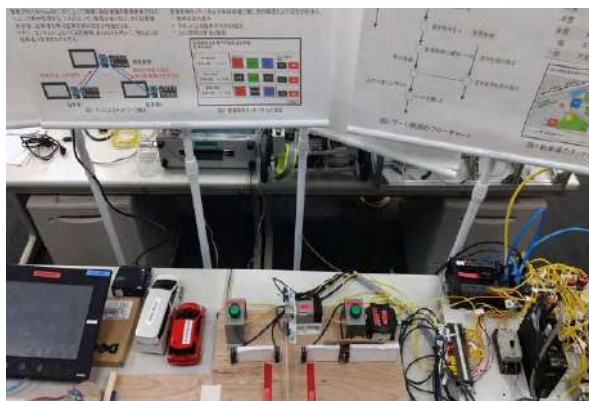
表彰式

○MashupAwards2017 優秀賞受賞！

12月16日(土)に行われたMashupAward2017の決勝にて、電子機械工学科の学生が優秀賞を受賞しました。

MashupAwardは様々なデバイスやAPIを活用しながら作品を生み出すものづくりコンテストです。

今回の受賞は、大阪でのハッカソンイベント、MashupAward準決勝、決勝と勝ち上がってきた結果です。



○平成29年度PLC制御コンテストで優勝

12月26日(火)にオムロン株式会社 東京事業所で行われた、オムロン・高専機構共同教育プロジェクト「平成29年度PLC制御コンテスト」の最終発表会に鳥羽商船の専攻科1年生3名からなるチームが参加しました。

このコンテストは前身の「生産技術コンテスト」から通算4回目となり、今年度より「PLC制御コンテスト」に名前が変更されました。これによりテーマも生産技術に限らず制御用コントローラ(PLC)を身近な問題解決に役立てるものとなり、また、配布されるプログラマブルロジックコントローラ(PLC)も新型となりました。今年度は、学校内の困りごとを自動制御で解決することをテーマに書類審査が行われ、全国の高専から本科1年生から専攻科1年生までの幅広い学年となった12チームが最終発表会に臨みました。

3回目の優勝を目指す鳥羽商船チームは、学生主事からの困り事を受けて、許可が無い人が駐車できないよう駐車場に設置する多機能遮断機の模型を製作し、PLCにより警備員の仕事の自動化と管理者の支援を可能としました。プレゼンテーションとデモンストレーションによる審査の結果、いろいろな状況に対処できるプログラムが評価されて、目標通り優勝することができました。



優勝学生

○鳥羽市長と東海総合通信局長が鳥羽商船高等専門学校を訪問

1月11日(木)に中村欣一郎鳥羽市長と東海総合通信局の炭田局長が、鳥羽商船高等専門学校を訪問されました。練習船鳥羽丸を見学した後、地域の課題解決に向けて取り組んでいる様々な研究内容について、学生たちがプレゼンを行いました。

鳥羽市長は「実際に漁師や農家の方から困っていることを聞き、協力して課題解決に取り組んでいるところが素晴らしい。ぜひ市としてもできる限りの支援をしていきたい。」と学生たちに話されました。



学生のプレゼン

○「三重県工業研究所との連携協力に関する協定書調印式」 举行

1月16日(火)、本校にて「三重県工業研究所と鳥羽商船高等専門学校との連携協力に関する協定書調印式」を執り行いました。式には、三重県工業研究所と本校の関係者が出席し、三重県工業研究所 湯浅所長と林校長による調印が行われました。

本校と三重県工業研究所は、県内企業等を効果的・効率的に支援し、地域産業の発展に寄与することを目的として連携協定を締結しました。今後は、研究・技術情報の交流、共同研究等の実施、教員・

研究員等の相互受入、設備機器等の相互利用を主とした連携協力により、更なる相互発展が期待されます。



○「商船学科5年生席上課程修了式」 举行

2月9日(金)本校マルチメディア教室にて「商船学科席上課程修了式」を執り行いました。式には、林校長、石田副校長、教職員が出席いたしました。学生は春から卒業までの半年間、それぞれ海技教育機構の大型練習船や就職が内定している船会社の船で最後の実習に挑みます。



船学科5年生席上課程修了生

(商船学科航海コース 齊心 俊憲 記)

同窓会便り

○工業系学科卒業式

今年も3月18日(日)に工業系の制御情報工学科40名、電子機械工学科41名、専攻科の生産システム工学科の7名が希望に胸たぎらせて卒業いたします。

進学13名、就職75名で全員の進路が決まりました。

同窓生一同皆様の活躍を期待しています。

○100周年記念館の近況

100周年記念館の近況と情報を連絡させていただきます。

当記念館は同窓会創立100年を記念して、同窓生、船会社、母校教職員他多くの皆様のご寄付で昭和57年(1982年)に建設されました。

今年で築後36年を経過しました。

2年前の常総台風で当館も甚大な被害を受け、特に2階3階に大きな被害を被りました。

その後母校は2年がかりでメンテナンスと改修工事を実施し、内部は新しく生まれ変わりました。トイレはウォシュレットに代わり、3階の部屋の和室は9名定員1部屋、2～3名定員2部屋、洋室シングルルーム1部屋、浴室はなくなりましたが男女別のシャワールームができました。

ご利用の場合は事前に母校財務係を経由して管理責任者に使用願を提出し許可が必要です。

利用料は1名2800円と安価に利用できます。

改修後の部屋の写真を添付します。



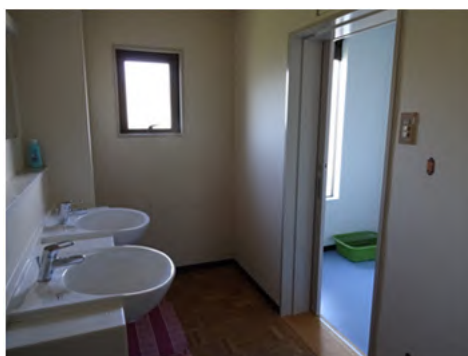
洋室シングルルーム



和室小部屋



和室大部屋



洗面設備

広島商船高等専門学校

学校

◎商船祭・オープンスクール

10月28日(土)、29日(日)第41回商船祭を開催しました。また、29日(日)には今年度2回目となるオープンスクールも開催しました。あいにく日曜日が雨天となり大変でしたが、多くの方にご来場していただき盛況に終わりました。



オープンスクール

◎後期クラスマッチ

11月1日(水)後期クラスマッチを開催しました。リレー、サッカー、バスケットボール、卓球、ドッジビー、オセロの6種目を競い合い、級友と共に汗を流す中で友情を深めました。新たに競技に追加された卓球、ドッジビー、オセロなど、屋内外の各種目で熱戦が繰り広げられました。

優勝チーム

- リレー 男子：電子制御工学科3年、
女子：3年生チーム
- サッカー：電子制御工学科5年
- バスケットボール 男子：商船学科5年、
女子：流通情報工学科3年
- 卓球 男子：流通情報工学科3年、
女子：流通情報工学科4年Aチーム
- ドッジビー 1年2組
- オセロ 電子制御工学科5年



クラスマッチ大会

◎島のアイデアソン福祉編の事業報告会

11月10日(金)東野文化センターにおいてNPO法人かみじまの風主催で開催された「島のアイデアソン福祉編の事業報告会」に流通情報工学科4年の中西学生がパネリストとして参加しました。中西学生は、早稲田大学の学生と一緒に考えたアイデアを提案し、大崎上島の活性化について熱く語ってくれました。

◎社会見学・工場見学の実施

商船祭後の秋季の大きな行事として1・2年生社会見学、電子制御工学科及び流通情報工学科の3・4年生工場見学が実施されました。見学先等の詳細は下記のとおりです。また工場見学では多くの先輩にお世話になりました。

- ・1年(全クラス) 11月16日(木)
ガラスの里、お好み焼き体験
- ・2年(全クラス) 11月16日(木)
中野うどん学校琴平校、金刀比羅宮
- ・電子制御工学科3年 11月15日(水)
デルタ工業、ディスコ桑畑工場
- ・流通情報工学科3年 11月15日(水)
エフピコ福山、広島県立歴史博物館
- ・電子制御工学科4年 11月15日(水)～17日(金)2泊3日(関東方面)
富士電機株式会社、ジャパンマリンユナイテッド株式会社横浜事業所 磯子工場、三菱ビルテクノサービス株式会社
- ・流通情報工学科4年 11月15日(水)～17日(金)2泊3日(関東方面)
山九株式会社 横浜支店、チームラボ株式会社、東京証券取引所アローズ、富士通株

式会社川崎工場/富士通ミュージアム



社会見学会

◎税に関する高校生の作文において表彰

11月27日（月）税に関する高校生の作文において流通情報工学科の岡崎学生と横山学生が優秀賞を受賞しました。



作文コンテスト優秀賞受賞

◎キャンパスベンチャーグランプリ学生ビジネスプランコンテスト受賞

本校学生がキャンパスベンチャーグランプリ中国大会において下記のとおり受賞しました。

- ・テクノロジー部門最優秀賞
安森学生，中川学生 泉学生，平尾学生
- ・テクノロジー部門優秀賞
栗栖学生，檜垣学生、藤井学生，津間学生

◎大崎上島駅伝大会

2月11日（日）に開催された大崎上島駅伝

に本校から陸上競技部と野球部が出場しました。陸上競技部は一般男子の部で優勝し、野球部は高校男子の部で3位でした。

◎「企業研究会」を開催

広島商船高等専門学校産業振興交流会が主催し、電子制御工学科・流通情報工学科の4年生と専攻科1年生を対象に参加企業の情報を共有するとともに、今後の就職活動に資することを目的とした企業研究会を開催しました。



◎3月3日（土）：卒業証書・修了証書授与式を挙

電子制御工学科第26期43名，流通情報工学科第29期40名，専攻科産業システム工学専攻8名が本校を巣立って行きました。望月校友会会長より祝辞をいただき，卒業生退場の際には，卒業生たちのこれからの新たな旅立ちに惜しみない拍手が送られました。



工業系学科卒業式

◎年度末など

この3月で本校を退職されます先生を紹介します。(在職年数順)

| | |
|---------|-------|
| 電子制御工学科 | 松島 勇雄 |
| 一般教科 | 舟木 弥夫 |
| 一般教科 | 岩井 一師 |
| 商船学科 | 徳田 太郎 |

また今年度(30年度)の主な行事予定は次の通りです。

| | |
|-----------------|----------------|
| 前期始業式 | 4月5日(木) |
| 入学 | 4月8日(日) |
| 中国地区高専大会 | 7月7・8日(土,日) |
| 前期終業式 | 8月10日(金) |
| 商船学科卒業式 | 9月22日(土) |
| 後期始業式 | 9月25日(月) |
| 120周年記念行事 | 10月20日(土) |
| 商船祭 | 10月27・28日(土,日) |
| 後期終業式 | 2月15日(金) |
| 電子制御・流通情報工学科卒業式 | 3月2日(土) |

校友会

◎校友会総会

本年度の校友会総会は広島です。多くの方の参加をお願いします。

平成30年広島商船高等専門学校校友会総会

日時: 平成30年5月19日(土)

総会: 15:30~16:30

懇親会: 17:00~19:00

場所 ホテルセンチュリー21

(広島駅南口より徒歩3分)

広島市南区的場町1-1-25

082-263-3111

広島商船高等専門学校校友会

0846-65-3899 (TEL・FAX)

Eメール: koyukai@hiroshima-cmt.ac.jp

(記: E52茶園)

大島商船高専専門学校

◎平成 29 年 11 月中旬から平成 30 年 3 月初旬にかけて行われた、主な式典、教育活動、地域連携などを中心に紹介します。

1. 式典・催事

○創基 120 周年・高専創立 50 周年記念式典および講演会

本校の前身である、「大島郡立海員学校」は明治 30 年 10 月 1 日に創設されました。さらに高度な教育を行うため、昭和 42 年 6 月 1 日に「大島商船高等専門学校」すなわち高専へ昇格しました。創基 120 周年・高専創立 50 周年記念式典および講演会を、平成 29 年 11 月 18 日(土)、本校体育館において挙行了しました。

記念式典では、石田廣史校長が「地域社会ならびに関連産業界との連携をより深め、広く社会が求める有為な人材育成の教育に全力を注ぐ」との式辞を述べ、続いて岸信夫衆議院議員、江島潔参議院議員、林芳正文部科学大臣代理、村岡嗣政山口県知事、柳居俊学山口県議会議員、椎木巧周防大島町長代理からそれぞれ祝辞、国立高等専門学校機構の谷口功理事長から謝辞が述べられました。

記念式典の後、120 周年を記念して学生からデザインを募集、作成されたマスコットキャラクター「かもぞう」がこの日初めてお披露目され、学生会長から「人と人をつなぐ渡り鳥となってもらいたい」と紹介されました。

続いて記念講演会『伝統と最新の技と革新』では、リニアモーターカー開発者の上西寛一郎氏による「ザ・リニアモーターカー」の講演と、卒業生でもある萩焼陶芸家・守田唐七氏による「伝統工芸と萩焼」の講演が行われ、参加者は熱心に



かもぞう

耳を傾けました。記念式典及び講演会には、官学界・産業界・同窓生など約 140 名の参加者を得て、在校生及び教職員を含めると 800 名を超える盛況となりました。



記念式典



講演中の守田氏

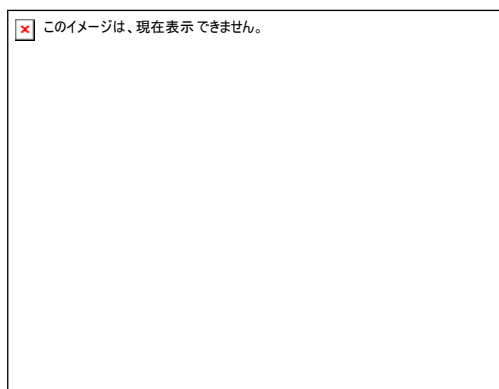


講演中の上西氏

○平成 29 年度大島商船高等専門学校名誉教授称号授与式

平成 29 年度大島商船高等専門学校名誉教授称号授与式を、平成 29 年 9 月 20 日(水)に挙行了しました。本校の充実発展に対して特に功労のあった方へ名誉教授の称号を授与しており、

今年度は、元商船学科教授である辻啓介氏に授与されました。授与式では、石田校長より、在職中のご尽力に対して感謝の言葉が述べられ、名誉教授の証書をお渡ししました。

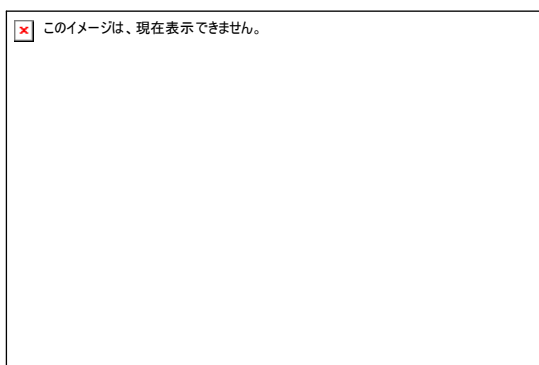


名誉教授称号授与式

○平成 29 年度永年勤続者表彰式を挙

平成 29 年度永年勤続者表彰式を、平成 29 年 11 月 28 日（火）に挙行了しました。永年勤続者表彰は、在職年数 20 年以上かつ、勤務成績が良好である教職員を対象として表彰するもので、今年度は 5 名の教職員が表彰されました。

表彰式では、石田校長より、長年の勤務に対する労いの言葉と中核として今後の活躍に期待する旨の祝辞が述べられ、代表者謝辞として、本校の卒業生でもある、商船学科 川原教授が、本校の発展に貢献できるよう尽力していくとの抱負を述べられました。



永年勤続者表彰式

○平成 29 年度評議員会を開催

平成 29 年度評議員会を、平成 30 年 2 月 26 日（月）に開催しました。評議員会は、校長の諮問に応じて、学校運営に関する重要事項につ

いて助言及び提言を頂くことを目的として設置されているものです。地元自治体、地元企業、本校同窓会、地域の中学校、高等教育機関等から外部有識者を招いて、毎年開催しています。評議員会では、本校教員による説明の後、委員から質疑や本校に対する提言を頂きました。これらを今後の教育、運営に生かして参ります。

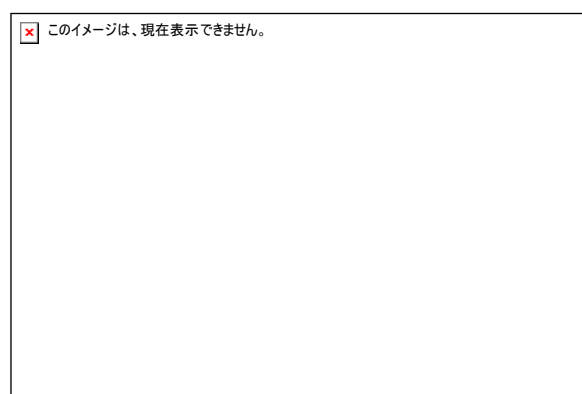
2. 教育活動

○カウアイ・コミュニティ・カレッジ学長訪問

平成 29 年 11 月 30 日（木）、アメリカ合衆国ハワイ州カウアイ島にあるカウアイ・コミュニティ・カレッジのヘレン・コックス学長ら 4 名が、大島商船高等専門学校を訪問しました。

毎年夏に、カウアイ・コミュニティ・カレッジに対して学生を英語研修に派遣しています。また、大島商船高専のある周防大島町は、カウアイ島と姉妹島縁組を結んでおり、2 年前にはカウアイ郡長が大島商船高専を訪れるなど、学生派遣以外の交流も行っています。

一行は校長らと双方の連携・協力について懇談した後、学生対象のプレゼンテーションを行いました。ハワイに関するクイズの出題やカウアイに関するビデオを鑑賞し、学生たちはカウアイやハワイに関する興味を深めた様子でした。

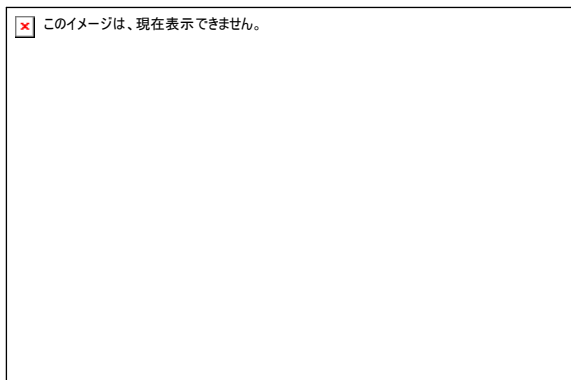


コックス学長ら訪問団と交流する学生の様子

○海外教員による授業の実施

平成 29 年 12 月 4 日（月）から 12 月 15 日（金）にかけて、「次世代海事人材の育成システムの構築」プロジェクトにおける「英語力向上

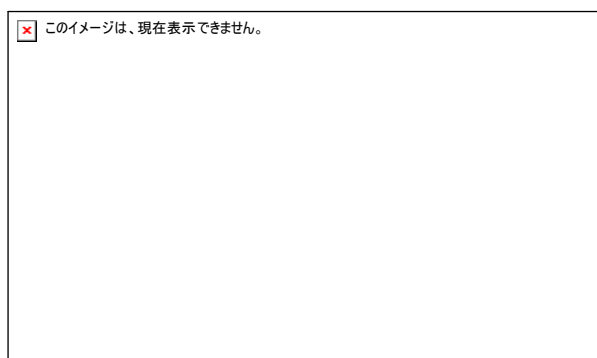
プログラム」の一環として、英語での授業を 2 週間にわたって行いました。本校と交流協定を結んでいる台湾の国立高雄海洋科技大学から、周明宏一等機関士を講師としてお迎えしました。授業の対象は商船学科や海洋交通システム学専攻の学生で、英語力の向上を目指して専門科目の授業を英語で行いました。



海外教員周講師の授業の様子

○海外研修報告会の実施

平成 29 年 12 月 6 日（水）、夏季休業中の海外研修に参加した学生たちが報告会を行いました。報告をした学生は、カウアイ・コミュニティ・カレッジ、国立高専機構のマレーシア・ペナン研修、宇部高専主催の台湾・聯合大学研修に参加しました。参加者は現地での生活や、研修プログラムの内容など、英語や時には中国語を交えながら発表し、教員や学生からの質問に答えました。

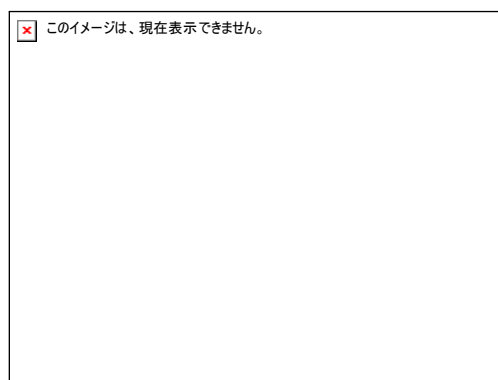


海外研修報告会の様子

○知的財産セミナーの開催

平成 30 年 1 月 16 日（火）、本校 LL 教室において「高専学生向け知的財産セミナー」を開

催しました。本セミナーは、独立行政法人国立高等専門学校機構と連携、協力関係にある日本弁理士会の協力を得て開催され、学生の知的財産に関する知識の涵養を目指して約 1 時間 30 分のセミナーが行われました。発明をする上で大切な考え方を、「カップラーメン」や「六角形の鉛筆」等ごく身近な例を題材に大変分かりやすくご説明いただくもので、知的財産の基礎について学ぶ貴重な機会となりました。演習課題のグループワークでは、参加した約 8 名の専攻科生は熱心に意見を出し合っており、知的財産に対する関心を高める良い機会となった様子でした。



知的財産セミナーの様子

○落水者救助訓練の実施

平成 29 年 12 月 5 日（火）、大島商船高等専門学校で、商船学科 3 年生を対象とした落水者救助訓練を行いました。この訓練は、転落者の救助を目的としたもので、落水者に近づくための操船方法や、救助方法について学ぶ訓練です。海中への転落者に見立てたブイを投下して、ウィリアムソンターンなど船舶を急旋回させブイの位置まで戻る実習を行いました。



落水者に見立てたブイ監視の様子



落水者に見立てたブイ回収の様子

3. 地域連携活動、公開講座など

○入試問題解説会の開催

平成 29 年 12 月 2 日（土）、本校で入試問題解説会を開催しました。入試問題解説会では、平成 29 年度の中学 3 年生を対象として、平成 29 年 2 月に実施された高専入試の問題を、本校教員が解説しました。比較的難易度が高いと言われる高専の入学試験ですが、中学生は問題を解くための考え方やヒントを得て充実した一日になったようです。



入試問題解説会の様子

○防災出前授業の開催

平成 30 年 2 月 21 日（水）、周防大島町立大島中学校において、「防災出前授業～サバイバルレッスン」を実施しました。この授業は、本校

の防災教育プロジェクトチームによる出前授業で、近い将来必ず起こると言われている「東南海・南海地震」に対して児童生徒の防災の対応能力を育成するとともに、学校の防災対応を支援することを目的としています。本校教員が地震・津波のメカニズムの講義、災害時の行動と津波ハザードマップの紹介、防災グッズの紹介、ロープワークなどを行いました。



防災出前授業の様子

○島スクエアフォーラム 2018 の開催

平成 30 年 2 月 11 日（日）、地元周防大島町の大島文化センターで、大島商船高等専門学校が、「島スクエア」事業 10 年目の活動報告会である「島スクエアフォーラム 2018～里海が育む未来～」を開催しました。「島スクエア」とは、平成 20 年度に採択された文部科学省・科学技術振興調整費事業地域再生人材創出拠点の形成プログラム「山海空コラボレーションみかん島再生クルー」の愛称であり、補助金終了後も継続事業として実施しています。当フォーラムは、地元の周防大島町をはじめ、柳井市、上関町、田布施町、平生町及び周防大島町商工会の協力のもと開催され、約 200 人の来場者がありました。

4. 学校PR活動およびクラブ活動の

表彰

○平成 29 年度 柳井まつり学校 PR の開催

平成 29 年 11 月 23 日（木）、秋の収穫を感謝して柳井の秋祭りが開催されました。本校も柳井まつりに参加し、柳井市体育館で、パネル展示や「スライムづくり」・「缶バッジづくり」・「不思議な振り子づくり」・「カレンダーづくり」の体験コーナーを用意しました。子どもたちからお年寄りの方々までたくさんの方に立ち寄っていただき、大島商船高専を知っていただく良い機会となりました。



柳井まつり学校PRの様子

○サッカー部「Global Island リーグ」連覇

中国・四国・九州地区の高校サッカー強豪校を招待した、「第4回サザン・セット大島 周防大島町長杯 高校サッカーフェスティバル」が、平成 30 年 1 月 6～8 日に開催されました。本戦とは別に本校グラウンドを会場に行われる、5 チームのリーグ戦「Global Island リーグ」において、通算成績 3 勝 1 分 0 敗で本校サッカー部は 2 年連続の優勝を果たしました。



優勝したサッカー部の様子

◎おわりに

平成 29 年度は創基 120 周年・高専創立 50 周年記念の年であり、記念式典および講演会を中心とした様々なイベントにおいてご協力ありがとうございました。前回は記載しましたが、記念式典内容を含む**創基 120 周年記念誌**が HP 上で閲覧できるようになる予定です。創基 130 年、それ以降に向けて、今後ともさらなるお引き立てをよろしくお願いいたします。

(教務主事補 村田 光明 記)

同窓会だより

○萩小松会を設立

平成 29 年 9 月 25 日、同窓会理事会・総会において、萩支部の設置を承認しました。山口県萩地区におきましては、近辺に在住する同窓生が長年にわたり、毎年 2 回の会合を行うなど、親睦活動に取り組みられてきたことから、今般、同窓会組織の一員に加わることとなりました。

平成 30 年 2 月 17 日には、新年の集いが開催され、小松会本部事務局長 前田幸男（昭和 50 年卒）より萩支部会長 砂田勝昌氏（昭和 37 年卒）に、商船旗（校旗）が贈呈されました。



大島商船同窓会ホームページ
萩小松会 ホーム (TOP) 画面

○大島商船 同窓会 ホームページについて
【 <http://oshima-k.jp/> 】

大島商船 同窓会「小松会」は、全国に支部を置き、活動いたしております。

最新の動向や活動状況など、同窓生の皆様への即時配信、年代を超えた同窓生のつながりの拡充等を目的として、ホームページの活用、充実化を図っております。

同窓会報等も、ホームページから閲覧できるよう、徐々にではございますが移行中です。

(大島商船 同窓会 本部) ホーム > 活動予定・報告【 <http://oshima-k.jp/schedule/> 】
ご理解とご協力の程、お願い申し上げます。

【以下、同窓会報の閲覧(ダウンロード)手順】



①ホーム (TOP ページ) 画面で、【大島商船 同窓会 本部】を選択



②ホーム (TOP ページ) 画面で、【活動予定・報告】を選択



③閲覧したい年度の【同窓会報】を選択



大島商船同窓会ホームページ 本部 ホーム (TOP) 画面【 <http://oshima-k.jp/> 】



④ 【ダウンロード】をクリック



⑤ 【ダウンロード】をクリック

◎ 峠智子さん（全船協広報大使・大島商船高専卒）日本海事新聞の誌上対談に登場



3月30日発行の日本海事新聞の港湾物流特集で大島商船高専卒（モデル）の峠智子さんが日本港運協会の久保昌三会長と誌対談

弓削商船高等専門学校

学校だより

○留学生日本語スピーチコンテスト in 愛媛2017で最優秀賞を受賞！

平成29年11月5日(日)に愛媛県留学生等交流推進会議主催の「留学生日本語スピーチコンテスト in 愛媛2017」へ4名の留学生が参加しました。

大会全体で19名の学生が参加しており、結果は電子機械工学科5年のタツサクロン ウォン タツ君が最優秀賞、情報工学科4年のムハマド シャフィック ビンシャヒダン君が佳作を受賞しました。参加者の過半数が大学生の中で最優秀賞を獲得し、素晴らしい結果を残してくれました。

4名の留学生は、非常勤講師の黒瀬泉先生と連日練習を重ね、前日の土曜日も夜まで練習をしたそうです。タツサクロンウォン タツ君の受賞の際のコメントには“先生のおかげです”という一言がありました。

来年も出場するチャンスのある4年生の留学生は、また来年も参加してみたいと話していました。



留学生日本語スピーチコンテスト

○第14回全国高等専門学校デザインコンペティションで優秀賞を受賞！

平成29年12月2日(土)・3日(日)の2日間にわたり、岐阜工業高等専門学校が主管となり第14回全国高等専門学校デザインコンペティション「デザコン2017 in 清

流の国ぎふ」が開催され、本校からは、「AMデザイン部門」へ電子機械工学科4年、武田海君、井門早姫さん、横山ひかりさんが参加しました。

この「AMデザイン部門」は、安心安全をテーマに、3Dプリンタを使って自由な発想と独創的なアイデアを競う部門であり、本校は優秀賞を受賞しました。

「AMデザイン部門」には全国高专から24チームがエントリーし、予選(書類審査)を通過した本校を含む12チームが本選に出場しました。本校は、安心ばかり「確認くん」という、IoTを活用した次世代のはかりを考案し、そのアイデア、機能、将来性が評価されました。



デザインコンペティション

○第39回四国地区高等専門学校総合文化祭に参加

平成29年12月9日(土)・10日(日)の2日間にわたり、新居浜工業高等専門学校主催で第39回四国地区高等専門学校総合文化祭が愛媛県新居浜市で開催されました。

本校は、9種目に参加し、絵画部門、書道部門では、優秀賞を受賞しました。

【文化祭受賞者一覧】

| 部門 | 賞 | 学科・学年 | 氏名 |
|--------|-----|-------------|-------|
| 絵画部門 | 優秀賞 | 情報工学科 4年 | 新川 陽葉 |
| | 佳作 | 情報工学科 3年 | 山本 妙 |
| | 佳作 | 情報工学科 2年 | 田坂 百絵 |
| 書道部門 | 優秀賞 | 情報工学科 4年 | 升田 美琴 |
| | 佳作 | 情報工学科 3年 | 箭内 楓 |
| | 佳作 | 情報工学科 3年 | 佐藤 花菜 |
| コンピュータ | 準優勝 | マイコン部 | |

○キッズジョブまつやま2017で船員ジョブの実施

平成29年12月17日(日)松山市総合コミュニティセンターにて松山市小中学校PTA連合会主催の“キッズジョブまつやま”へ本校が参加し、船員講座を実施しました。

このイベントは市内の小中学生から参加者を募集、本年は約3,000名の応募の中から1,800名の希望者が参加し、62講座の中から2講座を受講、仕事体験を行いました。

本校はコミュニティセンターのプールを使用して救命艇の体験乗船、非常食や救命胴衣の展示を行って講座を実施しました。残念ながら、抽選で参加できなかった見学者からは体験乗船をしたかったという意見が多くありました。



キッズジョブまつやま

○技術振興会主催「第2回キャリア教育フォーラム」を実施

弓削商船高等専門学校技術振興会では、平成29年度事業の一環として、平成29年12月2日(土)に、上島町のせとうち交流館及び弓削地域交流センターにて、第2回キャリア教育フォーラムを開催しました。

このフォーラムは、進路決定やインターシップに関する様々な情報を提供する機会を設けることを目的として昨年度から実施しているもので、今年度は、学生、保護者合わせて約170名の参加がありました。

学生にとって、自身の将来のキャリアについて考える良い機会となりました。



キャリア教育フォーラム

○「弓削丸体験航海・船の仕事講座」実施

平成29年10月24日(火)、次世代海洋人材育成事業の一環として三原市立大和中学校2年生46名を対象に、海の仕事に関する出前授業を実施しました。出前授業では、本校教員2名が同中学校へ出向いて、日本における船の役割や重要性、船に関わる様々な仕事についての講義を行いました。

次は実際に船を見てみようということで、11月7日（火）に本校へ招いてのカッター体験や弓削丸体験航海を実施しました。カッター体験では、教員からカッターの漕ぎ方についての指導があり、生徒たちは教員に教えられたとおり皆で息を合わせて漕を動かし、初めてのカッター体験を楽しんでいる様子でした。体験航海では、船内の配置や注意事項等の説明があった後、船内を自由に見て回り、疑問に感じるがあれば教員に積極的に質問しメモをとるなど、船に対して高い関心を持っていることが伺えました。

山間部に位置する中学校のため、海や船を目にする機会が少ない生徒たちにとって、2日にかけて実施した本事業では、船に関わる仕事や船の仕組みなど、実体験を通して深く学ぶことができ、大変貴重な時間となりました。



弓削丸体験航海

○愛媛銀行との情報交換会を開催

愛媛銀行と本校との情報交換会を、平成29年度12月21日（木）に愛媛銀行本店にて開催しました。

この情報交換会は、愛媛銀行と弓削商船高等専門学校の連携協力協定に基づき、地域における業務の相互の連携を図るため、毎年開催しているものです。

情報交換会では、まず、愛媛銀行ひめぎん情報センターの園部次長から、最近の景気動向について紹介があり、次に、弓削商船高等専門学校の藤本教務主事が、KOSEN4.0と「離島工学」戦略について紹介を行いました。その後、互に関心のある事項について意見交換を行い、双方から様々な質問や提案が挙げられました。



愛媛銀行情報交換会

○平成29年度就職講演会を実施

平成30年2月9日（金）に電子機械工学科・情報工学科4年生及び商船学科3年生を対象に就職講演会を実施しました。各学科の卒業生を講師としてお招きし、現在所属している会社についての概要や職務に関する説明、そして、就職活動時の体験談等を語っていただきました。電子機械工学科・情報工学科4年生は今まさに就職活動の最中であり、熱心に講演を聞いていました。商船学科3年生については、就職活動開始はまだ先にはなりますが、自身の進路やキャリアビジョンを見つめ直す良い機会となったようでした。



就職講演会

（広報主事 益崎真治 記）

弓削商船高専同窓会だより

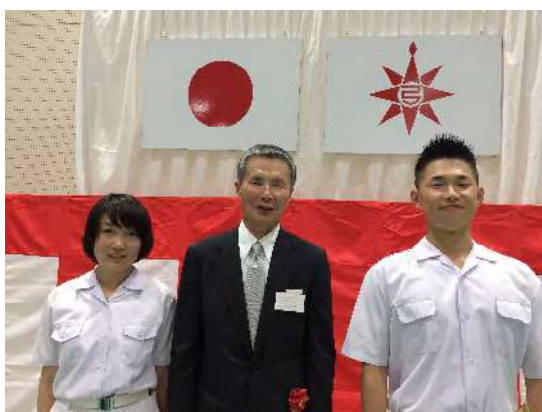
同窓生のみなさんおげんきでしょうか？
新年度が始まり、学校、同窓会も新たな年のスタートを迎えております。
本年もよろしくお祈りいたします。

前回同窓会記事がトラブルで掲載されなかったようですので下記新入会員の記事が一回前のものとなりますが、お許してください。

○新入会員（商船学科卒業式）の報告

平成 29 年 9 月 26 日商船学科の卒業式、海上輸送システム工学専攻の修了式が学校にて行われました。残念ながら全員が同窓会へ入会していただいておりますが、また新入会員を迎えることになりました。ご入会いただいた卒業生の皆様の将来を同窓会ともども支えていきたいと考えておりますので、先輩方のご協力もよろしくお願いいたします。ご入会いただいた新入会員のみなさま、あらためてご卒業おめでとうございます。

本年も航海科コース、機関科コースからそれぞれ 1 名ずつ同窓会より卒業表彰を行いました。本年の卒業生は航海科 1 1 1 期生、機関科 8 2 期生となります。



柏木会長と表彰された 2 名の卒業生

○忘年会、新年会の報告

昨年末より、阪神、京浜、今治、高松、徳島支部において忘年会、新年会が開催されました。本年も予定されておりますので

多くの参加者の方をお待ちしております。



弓削今治新年会

○室戸市中川内小中学校にて OB が講演会実施

平成 30 年 1 月 10 日（水）高知室戸市の小学校で SN109 期岡本泰士君が講演を行いました。この講演は国の海洋人材育成事業の一環であり、学校から依頼により実施された講演会です。

この趣旨である現役の航海士による小中学生への船、海、海運の広報活動のために、講師の岡本君には休暇中を計画して協力していただきました。岡本君と学校の連携は学校から E46 益崎がおこない、二人で講演会に出向いていきました。講演は益崎から岡本君の紹介、商船学校、船、日本の海運についての説明、これに続いて岡本航海士より、実際の船の現場や仕事内容、外国の話について小学生にもわかりやすく写真で説明を行いました。

参加した生徒は山村の学校ということで少なかったのですが、海、海運、船を十分伝えることができ有意義な講演会となりました。同窓会の協力のおかげで休暇中の航海士の方に参加してもらえることができ学校益崎からもお礼を申し上げます。



OB 講演会

○同窓会名簿発行へのご寄付のお礼

旧年中に作成いたしました同窓会名簿に対して大変多くの方のご賛同により、ご寄付もいただきありがとうございます。

みなさんよりいただきましたご寄付は同窓会事業のために大切に使用させていただきますので今後ともご協力よろしく願いいたします。

また次回の同窓会名簿発行は 2021 年弓削商船学校創立 120 年に向けて 2020 年にご案内する予定です。

以 上

本年も弓削商船高専同窓会、同窓生のみなさんよろしく願いいたします。

(E46 期 副会長 益崎真治記)

海技教育機構

○日本丸がホノルル・ヒロへの遠洋航海を実施
～太平洋の厳しい航海を終え、たくましく成長した高専実習生～

昨年12月9日(土)、高等専門学校第48期生(航海科・機関科)96名(うち女性16名)を乗せ横浜港新港埠頭からハワイへの遠洋航海に出航した練習帆船「日本丸」が、約2ヶ月の航海を終え2月8日(木)無事に東京港晴海埠頭に帰港しました。

今回の航海では、ホノルルだけでなく、「ハワイ日系移民150周年」を記念して11年ぶりにハワイ島ヒロへ寄港し、現地の日系人等から大歓迎を受けました。



日付変更線通過記念 H29.12.23



ハワイ島に向かって帆走、

実習生達は現地の方々の案内で元実習生の墓があるAlae日系人墓地の清掃を行ったり、記念プログラムの一環として海岸の清掃やハワイアンプラフト体験などをしたりして過ごしました。

ヒロとホノルルの出航時には、「登しょう礼」を披露し、お見送りの皆さんへの感謝の気持ちを表しましたが、出航岸壁がSOLAS岸壁で関係者しか入場できなかったため、日本丸は一旦岸壁を離れたあと、ビーチお見送りをいただいた沢山の方々に2度目の登しょう礼を行うという異例の対応を行い、多くの喝采を受け現地をあとにし帰路の航海を開始しました。



ヒロ港歓迎式

帰路の途中、2月2日(金)に硫黄島に到達した際には、夕刻、1分間の黙祷を捧げ、汽笛を吹鳴して島を離れました。

このように多くの貴重な体験を積み、船員として欠かすことのできない責任感や危険回避能力を学び、大きく成長して日本へと帰ってきた実習生たちは、2月10日(土)の下船式のあと、実習を終えそれぞれの学校に帰り、再び座学教育に臨みました。遠洋航海へのご支援、本当にありがとうございました。



下船式

遠洋航海中の練習船では、毎日Facebookに実習生が考えた川柳を掲載しています。日本丸にてクリスマス、年末年始を挟んだ遠洋航海を成し遂げた実習生川柳の一部(往路)をご紹介します。

実習生の秀作川柳

- ・ 揺れるけど 心やすらぐ 夜の空
- ・ 1-mile、2-mile、5-mile、10-mile、近づくたびに 増える smile
- ・ ハワイ向け 力合わせてホールタイ 進め進め日本丸
- ・ スパナもつ 姿がだんだん さまになる
- ・ スカツル すごい傾斜で 水族館
- ・ 夜に舞う セイルに一筋 流れ星
- ・ 変更線 越えて万歳三唱し 目指すハワイは 目の前だ
- ・ クリスマス テストも気になる ワッチ中
- ・ 年越しを ハワイで感じる 汽笛の音
- ・ 明日ハワイ おどる心と ゆれる船

○海王丸が鹿児島入港・霧島丸の慰霊碑を参拝

海王丸は訓練航海の途次、1月に鹿児島港に寄港しました。入港後、船長・機関長が鹿児島大学水産学部を表敬した際、敷地内に建立されている旧鹿児島県立商船水産学校の練習船「霧島丸」の慰霊碑を参拝しました。

全船協からの提案により平成23年2月に表敬以来、各練習船は機会があれば表敬させていただいています。今後も霧島丸遭難の事実を風化させないよう協力させていただきます。



霧島丸の慰霊碑参拝

○「海技教育機構オリジナルカレンダー」限定販売へ！～JMETS 監修商品第3弾として(株)交文社から1,000部の限定販売～

JMETS(海技教育機構)では、プレゼンスの向上と自己収入の確保を図るため、これまで「JMETS練習船カレー」「UW手ぬぐい」等を世に出して参りましたが、本年3月、監修商品第3弾として(株)交文社から「2018年度(2018年4月～

2019年3月)海技教育機構オリジナルカレンダー」を1部700円(税込:別途送料)で、1千部限定で販売されることとなりました。

このカレンダーでは、JMETS職員が各寄港地等で撮影した練習船の美しい写真が使用されているほか、各練習船の行動予定や学校行事が掲載され一目でわかるようになっています。また、小窓(小さい写真)では学校や練習船での訓練内容なども紹介されており、学生・生徒・実習生だけでなく、ご家族や関係者の皆様にも大変有用なものとなっています。どの写真も見応えある写真ばかりです。

この商品も売上げの一部は監修料としてJMETSに還元され、船員教育訓練の充実が図られます。

<ご注文・お問い合わせ先>

(株)交文社:飯坂(いいさか)、林(はやし)

Email: info@kobunsha-print.com

TEL: 03-3267-1225 FAX: 03-3267-3120



海技教育機構オリジナルカレンダー

○4月5日に練習帆船「海王丸」遠洋航海出航～横浜港新港埠頭からカフルイ、ホノルル、ウラジオストックへ向け～

平成30年度のJMETS練習船第1回目の遠洋航海が「海王丸」により実施されます。

今回は、4月5日(木)14時に横浜港新港埠頭を出航し、米国ハワイ州カフルイ及びホノルルに寄



登しょう礼

港し、さらに復航の途中、ロシア国ウラジオストクに立ち寄って6月8日(金)に帰港予定。

出航日は、平日になりますがお時間が許す方は是非とも岸壁に足をお運びいただき、出航をお見送りいただけましたら幸いです。

○ニーズに応え新規講習を次々と開催

～STCW 基本訓練、IGF 講習、フロン講習に続き ポーラーコード講習等～

JMETS(海技教育機構)では、業界等のニーズに応え、すでに STCW 基本訓練、IGF 講習、フロン講習を開始して参りましたが、この度、近年の北極海航路の利用拡大を背景に「極水域を運航する船舶向け基本訓練」(仮称)を開講することといたしました。

国際海事機関(IMO)において、極水域(北極海及び南極海)を航行する船舶の安全確保及び極水域の環境保護を目的として、極域コード(Polar Code)が新設されるとともに、SOLAS 条約、MARPOL 条約及び STCW 条約がそれぞれ改正されました。

これにより、船体構造、復原性、航海設備、凍結防止装置及び油汚染防止などハード面のみに限らず、船員技能訓練などのソフト面も含めて、極水域を航行する船舶には極水域特有の事情を勘案した上乘せ要件が適用されることとなり、氷況及び乗組員の職位に応じて、基本訓練又は上級訓練を受講しておく必要があります。

今般、JMETS では改正 STCW 条約に対応して、船長及び航海士を対象として、「極水域を運航する船舶向け基本訓練」(仮称)を開講することといたしました。なお、本講習は、平成 30 年 7 月の改正船員法の施行に合わせて、国土交通省の登録講習となる見込みです。



極海

○JMETS のウェブサイトを更新しました。

～練習船行動予定や学校行事はこちらから～

昨年 12 月に、皆様からのニーズに応えるため、JMETS ウェブサイトを全面リニューアルし、様々な活動をお知らせしていくこととなりました。

練習船の行動予定や学校行事もすぐに検索可能となりました。

今後ともご活用方、どうぞよろしくお願いいたします。



「JMETS」検索 又は QR コード

そのほか、日々の模様は Facebook からご覧いただけます。若かりし実習生だった頃の懐かしい光景を目にすることができるかもしれません。

実習生や乗組員への応援メッセージもよろしくよろしくお願いいたします。



JMETS イメージ写真

<https://www.facebook.com/jmets.ac.jp/>

今後とも JMETS へのご支援をよろしくお願いいたします。申し上げます。

○平成 30 年度のイベント情報

| 寄港期間 | | 寄港地 | 練習船 | 備考 |
|-----------|-----------|------|-----|---------------------------|
| 入港 | 出港 | | | |
| 4月19日(木) | 4月23日(月) | 長崎港 | 日本丸 | 長崎帆船まつり |
| 5月24日(木) | 5月28日(月) | 門司港 | 日本丸 | 門司みなと祭 |
| 7月20日(金) | 7月24日(火) | 新潟港 | 海王丸 | 海フェスタにいがた 新潟港開港 150 周年 |
| 8月9日(木) | 8月13日(月) | 紋別港 | 海王丸 | |
| 8月31日(金) | 9月4日(火) | 名古屋港 | 青雲丸 | |
| 10月25日(木) | 10月30日(火) | 宮古港 | 日本丸 | |
| 11月2日(金) | 11月7日(水) | 御前崎港 | 日本丸 | |
| 11月9日(金) | 11月13日(火) | 福山港 | 日本丸 | |
| 11月9日(金) | 11月13日(火) | 名古屋港 | 海王丸 | 名古屋港開港記念日 |
| 11月15日(木) | 11月19日(月) | 清水港 | 海王丸 | |
| 11月29日(木) | 12月3日(月) | 名古屋港 | 大成丸 | |
| 3月19日(火) | 3月23日(土) | 名古屋港 | 銀河丸 | |

本部・支部だより

〈 本 部 〉

- | | | | |
|------------|--|------------|---|
| 2017/12/18 | 北星海運株式会社山田氏打合せ | 2018/02/06 | 日本海事新聞社加護谷氏、鈴木氏来会 |
| 2017/12/19 | 株式会社コトラスシステム土屋氏打合せ | 2018/02/19 | 平成29年度海技振興フォーラムが海事センタービル2階で開催。 岩田会長及び及川専務出席。資料等については下記URLをクリック参照。 https://www.zensenkyo.com/c13/index/30 |
| 2017/12/21 | 業務打合せ（本望氏、田中（善）氏、増田氏） | 2018/02/19 | 第3回HTW検討委員会（及川） |
| 2017/12/25 | 公益財団法人帆船日本丸記念財団金近会長、飯田専務来会 | 2018/02/20 | 国立鳥羽商船高等専門学校 航海コース主任 片岡高志教授来会 |
| 2017/12/26 | 平成30年役員候補者選考委員会委員長&副委員長との打合せ | 2018/02/21 | 小木曾理事と異業種業者との会合打合せ |
| 2017/12/26 | 弁護士伊藤氏（鳥羽）来会 | 2018/02/21 | ジェイエイシーリクルートメント 佐々木氏、須賀氏大会打合せ |
| 2018/01/09 | 横浜海洋会賀詞交歓会（岩田） | 2018/02/22 | 独立行政法人国立高等専門学校機構 森氏、馬場氏来会打合せ |
| 2018/01/10 | 適合性サブプロジェクト（及川） | 2018/02/26 | 大島商船高専 平成29年度 評議員会（赤嶺副会長出席） 日時：2018年2月26日（月）15:00～17:00 場所：山口県周防大島 大島商船高等専門学校本館大会議室 |
| 2018/01/10 | 廃棄物・3R財団調査部藤波氏訪問（及川、小木曾） | 2018/02/28 | 上野トランステック株式会社海務部訪問（岩田、及川） |
| 2018/01/11 | セキュリティシステムについて トライバル木村氏来会 | 2018/03/06 | 公益財団法人 海技教育財団理事会（海運ビル）（岩田） |
| 2018/01/12 | 海洋会賀詞交歓会（岩田、及川、田島） | 2018/03/08 | 第3回平成30年役員候補者選考委員会（ひまわり館） |
| 2018/01/15 | キャプラン（株）坪田氏、佐々木氏来会 | 2018/03/08 | 次世代海事人材プロジェクト（13:30～20:00） 13:30～ 第2回運営委員会（及川） 16:00～ 乗船研修発表会（村田、及川） 18:00～ 意見交換会（岩田、及川） |
| 2018/01/17 | 三信ビル賃借人東芳紙業株式会社と今後入居時までの流れの確認打合せ（岩田、及川、田島）（JLL 大久保氏同席） | 2018/03/08 | 独立行政法人 海技教育機構企画調整部長乾 眞氏、企画調整部業務推進課長外谷 進氏来会打合せ |
| 2018/01/22 | 伊藤弁護士来会打合せ | 2018/03/12 | 神奈川県立海洋科学高等学校訪問（岩田、及川、加山会員） |
| 2018/01/22 | 三菱UFJスタンレー・モルガン証券金子氏、松山氏来会 | 2018/03/13 | 神田税務署主催新設法人説明会（田島） |
| 2018/01/22 | 現在の株式市況、概況の説明の為、大和証券大村氏、狩野氏来会 | 2018/03/15 | 公益財団法人 日本殉職船員顕彰会理事会・理事会（海事センタービル）（岩 |
| 2018/01/24 | 第2回平成30年役員候補者選考委員会（ひまわり館） | | |
| 2018/01/26 | 名古屋めいよう会賀詞交歓会（岩田） | | |
| 2018/01/26 | 三菱UFJモルガン・スタンレー新春セミナー（及川） | | |
| 2018/01/29 | 次世代海事人材プロジェクト適合性検証サブプロジェクト（及川） | | |
| 2018/02/05 | 海事立国フォーラム（海運ビル）（岩田、及川） | | |
| 2018/02/05 | 国道交通省交通政策審議会第35回海事分科会傍聴（岩田、及川） 議事及び出席者等は添付PDFを参照願う。 | | |

田、及川)

- 2018/03/15 日本海難防止協会理事会(霞が関)(岩田)
- 2018/03/22 五商船系高専校長と懇談会
- 2018/03/24 平成29年度第3回理事会開催(於:和泉橋千代田区民館13:00~15:15)
出席者:岩田会長、赤嶺副会長、及川専務理事、小木曾理事、柏木理事、田島理事、望月理事、吉本理事、渡部監事”
- 2018/03/27 水野博文氏来会打合せ
- 2018/03/27 リベラ株式会社地戸氏来会打合せ
- 2018/03/28 大和証券大村氏来会打合せ
- 2018/03/28 川越義人打合せ
- 2018/03/29 千代田三信ビル鍵等デリバリー
- 2018/03/29 帆船海王丸 熊田船長・尾崎機関長練習航海出航前挨拶来会

< 神戸支部 >

- 2017/12/15 年賀状出状
- 2017/12/22 定例会 出席者7名
- 2017/12/27 大掃除、仕事納め
- 2018/01/05 仕事始め
- 2018/01/09 関係先年始挨拶回り、各校幹事へしんようクラブの案内MAIL
- 2018/01/09 支部新年会 出席者7名
- 2018/02/15 機関士協会神戸支部新年懇親会
- 2018/02/16 しんようクラブ最終締切参加者数東急REIへ連絡
- 2018/02/21 しんようクラブ懇親会 於東急REI参加者93名
- 2018/02/26 定例会 出席者5名
- 2018/03/05 しんようクラブの幹事交代引継ぎ
- 2018/03/05 定例会 出席者8名

会費納入者芳名帳 (敬称略)

平成29年12月9日～平成30年4月4日現在

| | | | | |
|--------|---------|---------|--------|---------|
| 12月入金 | 原田 信夫 | 土屋 秀生 | 三村 宜寛 | 終身会員 |
| 個人入金 | 中上 靖教 | 粟田 和彦 | 宮澤 優太 | 末永 守 |
| 小林 孝市 | 白石 真純 | 大林 浩 | 薬師寺 尚人 | 4月入金 |
| 森下 昂 | 千葉 優太 | 山口 守 | 武田 駿弥 | 個人入金 |
| 前田 裕 | 金子 海里 | 加藤 明洋 | 半井 浩一朗 | 秋月 恭介 |
| 西 泰浩 | 末永 智之 | 三木 良祐 | 平木 雅希 | |
| 本木 久也 | 田中 拓海 | 濱本 奈 | 原田 修平 | |
| 花澤 利男 | 野田 恭平 | 田葉 行宏 | 2月入金 | |
| 種谷 収 | 浪切 聡史 | 松浦 浩三 | 個人入金 | 物故者 |
| 内田 安昭 | 中野 陽介 | 小林 大 | 鬼頭 俊介 | 山口 守 |
| 寺田 千穂 | 道渕 卓弥 | 竹中 謙 | 二ツ石 聖示 | |
| 大橋 泰夫 | 宮田 涼一 | 岩切 等 | 安田 周真 | 平成30年度分 |
| 武田 康裕 | 吉永 友安 | 久語 龍馬 | 小木曾 順務 | 4月4日入金 |
| 終身会員 | 商船三井フェ | 高尾 幸徳 | 冷水 雄一 | 田中 善治 |
| 多田 光男 | リー | 小池 信雄 | 山本 千達 | |
| 川崎汽船 | 相澤 功 | 五井 和貴 | 岡田 卓三 | |
| 福田 祥司 | 富山 幸弥 | 村上 嗣昌 | 水本 進一 | |
| 鍋島 誠 | 薄井 雄基 | 西村 悠汰 | 東軒 弘幸 | |
| 小山 靖 | 時松 勇貴 | 松本 佳岳 | 森田 篤史 | |
| 中村 敦也 | 廣瀬 潤一 | 出倉 佑樹 | 大下 和義 | |
| 阿部 昭敬 | 清水 洋平 | 池内 稜 | 木村 正助 | |
| 亀山 真吾 | 前田 龍弥 | 原田 圭司 | 瀬川 尚吾 | |
| 足立 吉久 | 岡田 頼人 | 澤 裕之 | 終身会員 | |
| 廣瀬 憲博 | JXオーシャン | 佐野 隆史 | 村田 勝久 | |
| 岡本 龍太 | 浦川 修 | 大澤 恵次 | 秋山 孝行 | |
| 西川 信紀 | 本田 修 | 宮武 弥希 | 2月入金 | |
| 藤澤 直樹 | 秋元 光博 | 安田 哲士 | 個人入金 | |
| 村松 賢一 | 須田 浩明 | 南方日出一 | 北本 明秀 | |
| 富田 稔 | 早崎 弘泰 | 岡田 輝幸 | 雲林院 記大 | |
| 大澤 博次 | 西本 雅之 | 千道 英雄 | 内中 豊 | |
| 川本 康一郎 | 二川 英樹 | 吉見 慶 | 三吉 光雄 | |
| 寺口 直宏 | 勝木 輝明 | 渡邊 拓弥 | 鬼木 海 | |
| 小山 陽平 | 出貝 孝洋 | 鳩山 勇太 | 佐々木駿二 | |
| 佐々木 薫 | 古川 洋 | 富永 栄治 | 宇佐美 康一 | |
| 山下 裕規 | 山田 隆二 | 鴨瀬 拓海 | 斉藤 勉 | |
| 田村 安英 | 山中 亨子 | 新田 泰弘 | 門脇 元 | |
| 藤坂 祐介 | 曾我部博弥 | オーシャントラ | 菅原 央貴 | |
| 西岡 圭志 | 上澤 恒介 | ンス | 寒河江 芳美 | |
| 杉枝 伸哉 | 周佐 智也 | 安藤 昌徳 | 椎原 健郎 | |
| 加藤 健真 | 山田 健太 | 角田 俊一 | 柏木 昭彦 | |
| 長沼 竜二 | 鬼塚 夕季愛 | 松野 直高 | 森川 航太 | |
| 長尾 徹也 | 新田 浩貴 | 貞方 利彦 | 高垣 毅 | |
| 友光 雄太 | 中玉利 治 | 小川 俊明 | 片桐 祥起 | |
| 横田 守弘 | 1月入金 | 山本 勝昭 | 宮崎 智司 | |
| 山本 将吾 | 個人入金 | 田口 徹 | 森 由衣子 | |
| 石田 宗久 | 峯 浩 | 山田 忠相 | 2年分入金 | |
| 穴太 康平 | 驚頭 真砂城 | 花田 靖幸 | 清水 啓矢 | |
| 楠本 竜也 | 水野 博之 | 元田 啓一 | 金子 俊介 | |
| 永村 大輔 | 加世 和彦 | 大竹 健士 | 3年分入金 | |
| 鬼頭 和江 | 坂本 聡 | 安原 尚 | 篠島 司郎 | |

《新刊紹介》

新訂 船舶安全学概論

船舶安全学研究会 著

船舶の運航者にとって重要な「安全の知識と海難への対応、非常時の行動」を取りまとめた「船舶安全学概論」の全面改訂版が発行された。

本書は、商船高専における新教科「船舶安全学」に関連する「航海学、機関学、造船学、防災工学、人間工学」をコンパクトに網羅し、学生の授業や自主学習に適したものが求められ、当時の山崎祐介富山商船高専教授の声かけで、全国5商船高専の教官による執筆で平成10年に初版が出版された。

今回は、初版発行から20年、改訂増補版の発行からも10年を経て、人間工学への理解や条約・法令の改正、海難審判制度の更新を取り入れ、5商船高専で日々実習や座学に従事している現役の教官が、授業での使用を念頭に全面改訂したものである。

映画タイタニックの公開が1997年、限られた救命ボートが生死を決めた場面を、多くの人が劇場で見守った。現在はこの映画を知らない世代が船に乗り組む時代である。本書は船員教育機関に限らず、船社における安全教育の基準図書としても役立つ。

A5判・並製・288頁・定価 本体2,800円(税別)

発行所：〒160-0012 東京都新宿区南元町4-51 成山堂ビル
(株)成山堂書店 TEL:03(3357)5861/FAX:03(3357)5867

ご注文アドレス:order@seizando.co.jp

STCW条約に基づいた救命・救助・消火講習の実例を紹介
内容も新しくなり実践に役立つ

必携の一冊ですよ!!



新訂 船舶安全学概論

船舶安全学研究会 著

A5判, 288頁, 並製, 定価 本体 2,800円(税別)

本書の主な内容

第1章 総論

安全とは/安全工学の概念/運動形態の機械・人間系における安全/災害防止の原則/災害生成の過程/災害の構造/事故原因究明・事故対策手法/人間の特性によるヒューマンエラー/安全と人間工学/信頼性工学的アプローチ

第2章 海難と海難審判及び原因究明の制度

環境保全の幕開けとなったエクソン・ヴァルディズ号原油流出事故/海難のとらえ方/統計からみた海難の実態/海難審判及び原因究明調査の制度/海難の統計データの分析について/海上安全に関わる主な国際条約/インシデント/人的要因による海難実態/新しい海難の原因究明と事故防止・安全管理

第3章 非常・応急措置

海難全般に関する一般的注意/衝突/浸水/乗り揚げ/舵故障/バラスト水と油汚染

第4章 火災と消火

燃焼の理論/消火の理論/消火剤と消火器/固定消火装置/火災探知装置/消防員装具/検知器具/消火作業/応急手当

第5章 洋上生存

タイタニック号の遭難とSOLAS条約/海難における人命喪失傾向/生存維持作業の流れ/生存技術の原則/生存維持作業における救命器具・救命設備規定の概要/効果的な船舶放棄作業/搜索および救出作業/SAR条約・船位通報制度/GMDSS

第6章 船内労働災害

船員労働安全衛生規則/船員災害

成山堂書店の新刊

第 48 回戦没・殉職船員追悼式のご案内

第 48 回戦没・殉職船員追悼式を下記の通り挙行いたします。多くの皆様の参列をお願い申し上げます。

式典は、国歌斉唱・黙祷・式辞・参列者献花・能楽「海霊」奉納の順に進行し 12 時に閉式。その後、観音崎京急ホテルで懇親会を行い、13 時 30 分散会の予定です。お問い合わせは日本殉職船員顕彰会へご連絡ください。

記

日 時 平成 30 年 5 月 15 日 (火) 午前 11 時開式
*晴雨に関わらず受付は午前 9 時に開始します。

場 所 神奈川県立観音崎公園「戦没船員の碑」(横須賀市)

交 通 ① 京急浦賀駅から観音崎行き京浜急行バス (所要約 15 分)
② JR 横須賀駅から観音崎行き京浜急行バス (所要約 30 分)
*①②ともに『観音崎』バス停車
③ 『観音崎』バス停から式典会場まで無料マイクロバス送迎
*乗用車による式場乗入れはできません。
午前 9 時から 11 時 10 分まで観音崎バス停から式場の『戦没船員の碑』まで無料マイクロバスを運行します。
*JR 東京駅から観音崎バス停までの 所要時間は約 1 時間 30 分です。

以上

※式典には、全国の遺族、関係者の参列をいただいています。ご案内状の発送は 4 月上旬を予定しておりますが、ご案内を差し上げない方々も自由に参列できます。

※式典会場は屋外となります。近年の温暖化の影響で晴天の場合は気温が高くなることが予想されます。暑さ対策として、帽子・日傘・水等をご用意ください。

※式典は雨天でも行いますので、雨具の用意をお願いします。

※開式前に海上自衛隊横須賀音楽隊の前奏があります。

(雨天の場合、前奏は変更になることがあります。)

※懇親会終了のころ (概ね午後 1 時から午後 2 時まで) 懇親会会場の観音崎京急ホテルから京急「馬堀海岸駅」まで無料マイクロバスを運行します。

〒102-0083 東京都千代田区麹町四丁目 5 番地 海事センタービル

公益財団法人 日本殉職船員顕彰会

電 話 03-3234-0662 F A X 03-3234-0682

E-mail : kenshoukai@isis.ocn.ne.jp

第3回 海から届ける写真展のお知らせ



内航船の日
7.15 NAIKO


@大黒湯 (東京・押上)

第3回 海から届ける写真展

陸の一般の方の提案から制定された記念日「内航船の日 (=7月15日ナイコー)」。
3年目の感謝をこめて、今年も東京スカイツリーのふもとの天然温泉、銭湯大黒湯で
恒例の写真展を開催します。

洋上の内航船員たちから届けられた「船員の海」がフロントのロビーに並びます。
備え付けのノートには、「船員のみなさん頑張って!」、「内航船という言葉を知りました」、「船に興味があった」、「貿易会社に勤務しています。ご苦労さま」と
記帳され、海を介して市民社会と海運物流とがリンクできている特別なイベントと
なっております。老若男女、様々な人の集まる銭湯。湯船の後に「お船見」どうぞ。

7.15 → 30



【大黒湯】
地元の人々に愛される下町の銭湯。
日替わりの粟湯やサウナ、露天風呂、
スカイツリーが眺められるウッドデッキもあります。

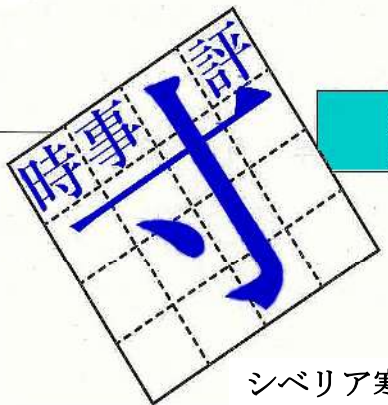
◆営業 平日 15:00～翌10:00 / 火曜定休
土曜 14:00～翌10:00 日祝 13:00～翌10:00

◆料金 大人 460円 中人 360円 幼児 80円

◆住所 東京都墨田区横川3-12-14
(Twitter) @daikoku_yu
<http://daikokuyu.com/>

【主催】 全日本内航船員の会
<http://naiko-alljapan.main.jp/>

半蔵門線、東武伊勢崎線、浅草線、京成押上線、押上駅B2出口から徒歩5分



シベリア寒気団の嫌がらせ？

今年の冬は、北極からの超低温の寒気が流れ込み日本全体を震え上らせた数十年ぶりの気象となり、私事ですが、ここ数年半袖の下着で我慢出来ていたが、堪り兼ねて急遽長袖に変える始末でした。(体力の衰えた方々の介護等思い浮かびます)

その影響は都心のビル空調等に使用される電力消費量の急増で、電力会社間の緊急調整を求められる状況にも表れておりました。

他方、記録的な豪雪となった北陸地方では高速道路が閉鎖され、国道を走るトラック・乗用車の立往生が発生して日用品、食料品の不足した地域も出てくる始末でした。

宇宙ロケットの開発、AI 自動車の開発等と世界に誇る高い技術力を持つ日本国としては、今回の様な降雪対策が出来ない原因を徹底的に追及して十分な対策を打つべき時期に来ているのではないのでしょうか？

「想定以上の」と言い訳がましい常套句は過去の逃げの表現です。立往生した車の列に住民がおにぎりを配り、無名で御礼の品物を住民の集会所に置いた方の心の温かさに和まされる冬でもありました。 TO 記

表紙写真 社船「きんれいか」 提供先 上野トランステック株式会社

今回の表紙写真は、上野トランステック株式会社の社船「きんれいか」です。

本船は、株式会社 新来島波止波どっくで製造され、平成 29 年（2017 年）12 月に竣工しました。

本船の要目は次の通りです。

航行区域：限定近海、総トン数：3,854 G/T、全長：104.93m、幅：16.00m、満載喫水：6.584m、

積荷：白油、積載量(K/L)：6,000、主機関：マキタ 2 サイクルディーゼル機関

主機最大出力：3,900KW、速力：14.0 ノット、定員：11 人

編集後記

昨年と同時期に発行した「全船協No.134 春季号」より 5 商船系高専商船学科 5 年生に配付始めて丁度 1 年が経ちました。

学生の皆さん及び保護者の皆様の感想等を期待しておりますが、今のところ残念ながら編集者の方には何も届いておりません。(会報に対して関心が低いのかと感じておりますが・・・)

今後、本会報が皆様読者にとって有効に活用される冊子となるよう是非皆様の忌憚りの無いご意見をメール等で送って頂ければ、私を含め「広報・ホームページ委員会」の面々で早速検討したいと考えております。

桜の花と共に入園、入学、入社を迎えるこの時期、「初心忘るべからず」の諺を思い出すのは私だけだろうか？

TO 記

全船協 No.137 春季号

平成 30 年 5 月 発行

◇発行所・一般社団法人 全日本船舶職員協会

◇編集兼発行人 及川 武司

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町二丁目 3 2 番地

金子ビル 206 号室

TEL 03-3230-2651

FAX 03-3230-2653

E-mail : honbu@zensenkyo.com

URL : <http://www.zensenkyo.com>

Tokyo Bay Licensed Pilots' Association

東京湾水先区水先人会

会長 西本 哲明

本部 〒231-0023 横浜市中区山下町1番2 パイロットビル 代表 TEL (045) 650-3180 FAX(045) 663-4811

URL:<http://www.tokyobay-pilot.jp>

オペレーション部 TEL (045) 681-4081 FAX(045) 681-4090

TEL (045) 681-4091

東京事務所 〒108-0022 東京都港区海岸3丁目33番17号

TEL (03) 3453-1691 FAX(03) 3453-4025

千葉事務所 〒260-0023 千葉市中央区出洲港15番1号

TEL (043) 242-6391 FAX(043) 248-2553

木更津事務所 〒292-0836 木更津市新港8番5号

TEL (0438) 36-0700 FAX(0438) 36-4696

川崎事務所 〒210-0869 川崎市川崎区東扇島38番地1 602号室

TEL (044) 266-8877 FAX(044) 266-8877

横須賀事務所 〒239-0831 横須賀市久里浜8丁目10番6号

TEL (046) 835-5709 FAX(046) 835-4977



内海水先区水先人会

Licensed Inlandsea Pilots' Association

会長 齋藤 實

〒650-0042

神戸市中央区波止場町5番4号中突堤中央ビル4階

電話 (078) 332-7191 FAX (078) 391-7157

E-MAIL info@inlandsea-pilots.jp

・海技教育支援事業 ・奨学金貸与事業
・帆船海王丸体験航海事業 等

公益財団法人 海技教育財団

会長 武藤 光一

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-4

電話 (03) 3288-0991 URL <http://www.macf.jp>

伊勢三河湾水先区水先人会

合同事務所

〒475-0831 愛知県半田市11号地1番5

電話 (0569) 23-0713

名古屋事務所

〒455-0033 愛知県名古屋市港区港町1番9号

電話 (052) 654-1281

関門水先区水先人会

会長 佐藤 元洋

〒801-0841 北九州市門司区西海岸1丁目4番24号

電話 (093) 332-2384(代)

鹿島水先区水先人会

会長 内田 裕二

〒314-0052 茨城県神栖市居切1909-16

電話 (0299) 82-5515

FAX (0299) 82-6205

宿泊設備 (海員会館) のご案内

ご宿泊・お食事・ご会合に、どなたでもご利用頂けます。

ナビオス横浜



1階 レストラン
Ocean
RESTAURANT

※写真はイメージです。

ナビオス横浜



3階 バーラウンジ
Seamen's Club



ナビオス横浜
International Seamen's Club & Inn
TEL : (045) 633-6000

川崎海員会館 TEL : (044) 233-5896

イスカ儿横浜 TEL : (045) 681-2141

イスカ儿神戸 TEL : (078) 341-0112

一般財団法人日本船員厚生協会(045)319-4506

ホームページ <https://www.jswa.or.jp>

船体関係図面の理解と利用



著者が現役の航海士および学生に対して講義してきたなかで、実務において重要であるにも関わらず十分に理解されていない図面や資料について、船体の配置・構造、復原性、貨物の積付け関連を中心にまとめた。高度な予備知識がなくても簡便に学習でき、記憶が曖昧になったときは再確認するための手引き書として使える。

浅木健司 著

A4判 144頁 定価(本体3,600円+税)

〒112-0005 東京都文京区水道 2-5-4
TEL 03-3815-3292 FAX 03-3815-3953

海文堂出版

<http://www.kaibundo.jp/>
e-mail: hanbai@kaibundo.jp

会員各位 平成30年度通常総会 開催通知

1. 日 時 平成30年6月8日(金) 14時00分～16時00分
2. 場 所 日本教育会館 (一ツ橋ホール)会議室 704号
住所: 〒101-0003
東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 Tel:03-3230-2834
3. 議 題 第1号議案 平成29年度事業報告(案)
第2号議案 平成29年度決算(案)
第3号議案 役員を選任及び解任

報告事項 平成30年度事業計画(案)及び予算(案)

※正式には会報と一緒に送付される「議案書」をご参照ください。

同封の通知票等で出欠・委任・書面表決等の総会手続きを行ってください。

通常総会が成立するには、会員の半数以上の出席が必要となっています。

総会に出席できなくても、会報に同封された通知表で「委任」または「書面表決」を行ってください。

ファックスや電子メール・ホームページ・携帯メールで回答されても有効です。

携帯メールの場合は、右のQRコードをご利用くだされば、簡単に送信できます。

